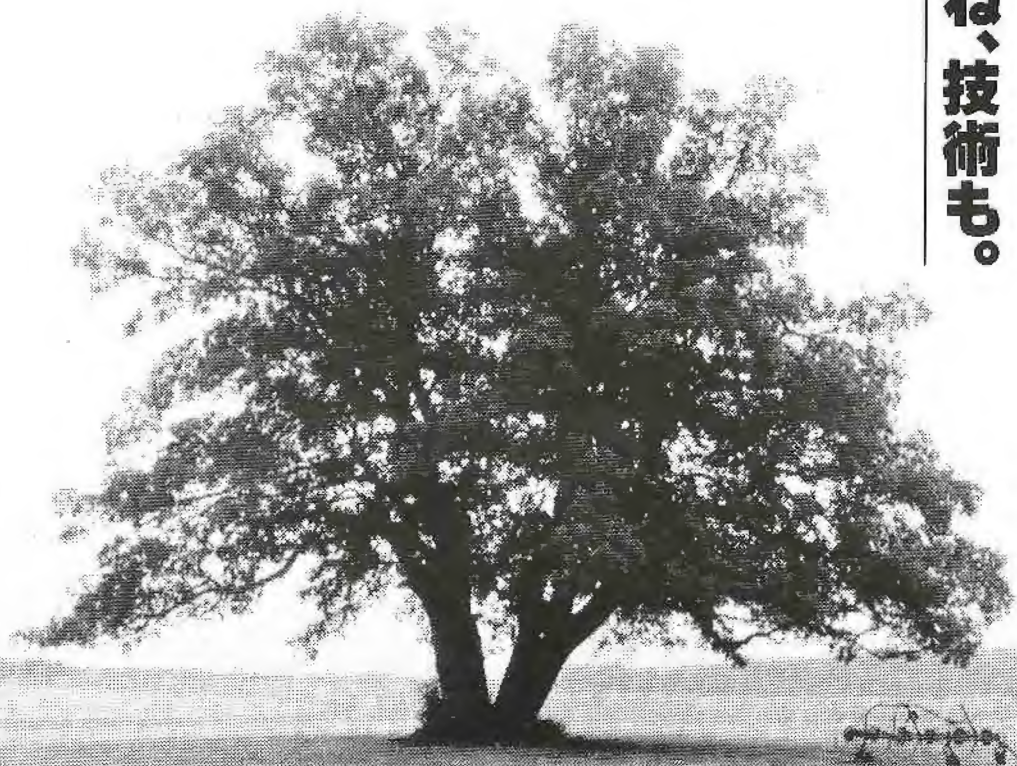

技術にこころをこめて75年


HITACHI

シンプルがいいね、技術も。

近年、"技術"はますます高度で複雑になってきました。専門知識を持った人や経験を積んだ人でなくては扱えないような機械もふえています。でも本来機械は、誰もが気軽に使えるものであるべきでしょう。これからの技術には単純明快なわかりやすさが必要なのです。いま日立はインターフェイスという言葉のもとに、人間と技術とのよりよい関係、誰もがかんたんに使いこなせる技術の実現をめざして研究・開発をすすめています。



技術との自由な対話

Interface

株式会社 日立製作所　宣伝部 〒101 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地　TEL東京(03)258-1111(大代)

男子 東陵中 女子 桜木中 が初優勝

「第14回全国中学校大会」

第14回全国中学校大会は、8月23日から25日までの3日間、北海道函館市に全国から選抜された男女各16校が参加して開催された。

今年の北海道は例年にない暑さが続き、この大会の期間も暑い日が続いたが、例年にも増して応援の父兄の数の多かった今大会、栄冠を目ざして中学生諸君の懸命のプレーがくり広げられた。

男女とも決勝戦は同じブロックの学校同士の戦いとなったが、男子は愛知県の東陵中、女子は東京都の桜木中がともに感激の初優勝を飾った。

また、女子の方では、1回戦で御幸中（石川）と神沢中（愛知）が延長戦まで戦って決着がつかず、遂にPT戦で勝負を決するという大熱戦もあり、中学生諸君の今後の活躍を大いに楽しみにしたい。

尚、大会事務局長の近野先生、また優勝校の東陵中の本谷先生、桜木中・加藤先生はお忙しい中、心よく原稿を引き受けていただき有難とうございました。





男子

1回戦

東陵（愛知）20〔7—3／13—4〕7 灯明寺（福井）

○…立ち上がり激しい攻防が続くが、両者小さなミスによりなかなか得点に結びつかなかったが、前半終了前チャンスを確実に得点に結びつけた東陵が4点差で前半を折り返した。波に乗る東陵は、後半立ち上がりから終始押せ押せムードで一気に灯明寺を突き放して20—7と快勝した。（近嵐）

江東（島根）20〔8—3／12—3〕6 的場（北海道）

○…両チーム共ミスが多く雑な試合運びと的場GKの好守もあって前半10分まで3—3と一進一退を続けたが、実力に勝る江東が以後着実に加点、前半を8—3とリード。後半に入ると全くの江東ペースとなり大差がついた。（村本）

下松（山口）17〔7—10／10—4〕14 岩出（和歌山）

○…立ち上がり緊張気味の下松を攻める岩出は3—0とリード。下松も8分過ぎには3—3と追いついたが、セットオフェンスでイージーなミスをくり返し、岩出に10—7とリードを許し前半を終了。後半に入り一進一退の攻防が続くが、下松は8分過ぎ相手のミスに乗じて1点差まで追い上げ、13分にはついに同点、14分にはとうとう逆転した。その後着実に加点し、17—14と鮮やかな逆転勝利を収めた。（近嵐）

大体大附（大阪）25〔15—4／10—4〕8 信夫（福島）

○…大体大附・安井、信夫・内谷両エースのロングシュートの打ち合いで始まったゲームも、5分過ぎから組織力に優る大体大附が安井を中心にロング、ポストプレー、速攻と多彩な攻めで着実に得点を重ね、内谷一人に頼る信夫に圧勝した。（村本）

南林間（神奈川）18〔8—6／10—7〕13 都呂々（熊本）

○…両チーム共ディフェンスが良く、前半10分頃までは得点の差はなかったが、その後南林間の速いパスワークで都呂々のディフェンスを左右にふらせ、ディフェンスの空いた所でのロングシュートが試合を決定づけた。（川村）

福栄（千葉）11〔6—5／5—5〕10 小禄（沖縄）

○…両チームのGK共に好守が光り、前半10分まで2—1のロースコアで試合を引き締めた。15分過ぎパッシブプレー2回など消極

得	〔東陵〕		〔灯明寺〕	得
0	中野	GK	岩出	0
0	薫田	GK	樅山	0
2	拓植	FP	稲原	2
0	松島	FP	黒田	2
0	高橋	FP	井上	1
1	橋本	FP	吉田	0
1	鈴村	FP	野尻	0
2	久野	FP	加藤	2
7	石井	FP	杉森	0
0	伊藤	FP	堀川	0
0	鈴木	FP	前川	0
0	粟井	FP	杉本	0
0	金沢	FP	森口	0
3	本山	FP	石川	0
4	鳥本	FP	小山	0
20	(5)	PT	(1)	7

〔審・佐藤 林〕

得	〔大体附〕		〔信夫〕	得
0	黒岩	GK	佐藤	0
0	桜川	GK	熊坂	0
4	公原	FP	内谷	4
10	安井	FP	伊藤	0
2	宮田	FP	富田	0
2	谷村	FP	高田	0
1	横山	FP	松浦	0
4	村上	FP	柏倉	3
0	辻川	FP	渡辺	1
0	神在	FP	斉藤	0
0	山田	FP	斉藤	0
2	沢田	FP	半沢	0
0	遠山	FP	金子	0
0	里見	FP	安原	0
0	角谷	FP	尾形	0
25	(1)	PT	(0)	8

〔審・南波 新橋〕

得	〔江東〕		〔的場〕	得
0	林	GK	若佐	0
0	米田	GK	久保	0
3	上田	FP	三橋	1
4	花田	FP	坂田	0
6	早川	FP	山崎	1
0	石田	FP	佐々木	3
4	高畑	FP	谷口	0
0	川下	FP	福島	0
0	福間	FP	中田	1
2	石井	FP	宝福	0
0	坂根	FP	関	0
0	島根	FP	内山	0
1	二上	FP	吉川	0
0	山本	FP	政	0
		FP	桜田	0
20	(2)	PT	(1)	6

〔審・三浦 錦織〕

得	〔南林間〕		〔都呂々〕	得
0	上栗	GK	松崎	0
0	中島	GK	松本	0
6	角岡	FP	江上	0
7	小川	FP	平田	0
0	本多	FP	浜田	0
1	伊藤	FP	山下	0
4	村山	FP	川原	0
0	後藤	FP	鎌田	5
0	林	FP	江口	0
0	山本	FP	倉田	5
0	神山	FP	鶴田	2
0	野呂	FP	若松	0
0	榎本	FP	山口	1
0	木村	FP	山本	0
0	前原	FP	新井	0
18	(1)	PT	(0)	13

〔審・千野 斉藤〕

得	〔下松〕		〔岩出〕	得
0	高橋	GK	中川	0
0	矢野	GK	持田	0
3	中村	FP	笠中	2
2	御厨	FP	中露	1
6	高橋	FP	古閑	8
2	岡	FP	田宮	0
0	松本	FP	飯野	1
4	三好	FP	田村	0
0	福永	FP	中井	2
0	相本	FP	福岡	0
0	福永	FP	小嶋	0
0	藤村	FP	塩谷	0
0	通山	FP	藤永	0
0	山根	FP	金田	0
		FP	金岡	0
17	(0)	PT	(1)	14

〔審・佐藤 林〕

得	〔福栄〕		〔小禄〕	得
0	小林	GK	仲村	0
0	志田	GK	長嶺	0
2	大羽	FP	上原	0
1	高橋	FP	長嶺	0
5	佐藤	FP	赤嶺	3
1	内海	FP	島袋	0
2	関口	FP	仲里	3
0	杉村	FP	国場	1
0	鈴木	FP	平良	0
0	前田	FP	當間	0
0	渡辺	FP	仲間	0
0	山田	FP	奥間	3
0	宮坂	FP	仲村	0
0	酒井	FP	宮平	0
0	唐牛	FP	上原	0
11	(0)	PT	(0)	10

〔審・不明〕

◆第14回全国中学校大会

的となる。その後一進一退の展開で前半を6—5と福栄リードで終了。後半、小祿はすぐに同点、勝ち越しに成功するが、食い下がる福栄の前にペースをつかめず、16分過ぎ再び10—10の同点になる。しかし、福栄は終了間近に再び勝ち越し辛くも逃げ切った（近嵐）

西笹川 23〔10—6／13—6〕12 南部
（三重）（富山）

○…開始15秒に西笹川の江守が先制。だが、13分には5—5と互角。やや動きに速さが見える西笹川の速攻とペナルティーにより10—6で前半を終了。

後半も西笹川・石橋の得点で開始。その後も西笹川が好プレーにより得点を重ね逃げ切った。（記入者不明）

香川一 17〔8—5／9—3〕8 湯川
（香川）（北海道）

○…立ち上がりもたつきを見せる香川一に対し地元の声援を受け奮起した湯川は7分過ぎまで4—2とリード。しかし、次第に落ち着きを取り戻した香川一は10分過ぎに追いつき、前半8—5とリードして終了。

後半に入っても緊迫した攻防が展開されたが、湯川は前半の差を縮めることが出来ずもたつく間に香川一は13分過ぎからじりじりと加点、17分過ぎには16—8と勝負を決定づける。（近嵐）

2回戦

大体大附 21〔8—5／13—4〕9 江東

○…大体大附がすべてのプレーにおいて上回り、江東を大差で降した。江東は前半よく善戦、5—8と頑張ったが、後半に至って力尽きた。（新妻）

西笹川 15〔6—3／9—7〕10 南林間

○…前半は両チーム共に動きが早く接戦であった。西笹川の石橋、多湖のロングシュートが後半決まり出し、逆に南林間のロングシュートが決まらず、速攻で得点を重ね勝負が決まった。（川村）

東陵 18〔7—6／11—9〕15 下松

○…立ち上がり両チーム共動きが固く、3分まで1—1と得点が伸びなかった。7分過ぎ東陵が得点したのをきっかけに動きが良くなった。後半開始早々、東陵の速攻が決まって東陵ペースに見えたが、8分に再び同点。しかし、下松が再三のチャンスを逃がすうちややスピードに乗った東陵が、前半のリードを生かし逃げ切った。（中島）

福栄 23〔11—3／12—4〕7 香川一

○…前半10分過ぎ福栄の攻撃的なディフェンスの前に香川一は攻

得	〔南部〕		〔西笹川〕	得
0	森田	GK	川島	0
0	佐藤	GK	小林	0
0	森田	FP	井方	2
2	新井	FP	久保田	0
1	尾山	FP	江守	9
2	大島	FP	石橋	5
1	柿谷	FP	多湖	4
6	田中	FP	久保	0
0	東海	FP	栗本	2
0	江幡	FP	稲垣	1
0	紺野	FP	吉畠	0
0	楠	FP	藤井	0
0	嶋	FP	石山	0
0	宝達	FP	寺前	0
0	浜本	FP	中道	0
12	(2)	PT	(2)	23

〔審・新橋・南波〕

得	〔南林間〕		〔西笹川〕	得
0	上栗	GK	川島	0
0	中島	GK	小林	0
1	角岡	FP	井方	1
5	小川	FP	久保田	0
1	本多	FP	江守	1
1	伊藤	FP	石橋	5
2	村山	FP	多湖	5
0	後藤	FP	久保	0
0	林	FP	栗本	1
0	山本	FP	稲垣	2
0	神山	FP	吉畠	0
0	野呂	FP	藤井	0
0	榎本	FP	石山	0
0	木村	FP	寺前	0
0	前原	FP	中道	0
10	(2)	PT	(0)	15

〔審・林・佐藤〕

得	〔湯川〕		〔香川一〕	得
0	紅谷	GK	市坂	0
0	緋田	GK		
1	佐々木	FP	境	3
0	中島	FP	松浦	4
0	和泉	FP	井上	2
0	中浜	FP	藤野	5
1	山田	FP	向井	1
1	宮田	FP	小島	2
4	岩崎	FP	藤沢	0
1	佐々木	FP	福岡	0
0	村井	FP	久保	0
0	小川	FP	花岡	0
0	鳶澤	FP	小田	0
8	(1)	PT	(0)	17

〔審・宮崎・長谷川〕

得	〔下松〕		〔東陵〕	得
0	高橋	GK	中野	0
0	矢野	GK	薫田	0
4	中村	FP	拓植	0
2	御厨	FP	松島	0
2	高橋	FP	高橋	0
0	岡	FP	橋本	0
0	松本	FP	鈴村	0
7	三好	FP	久野	2
0	福永	FP	石井	7
0	相本	FP	伊藤	0
0	福永	FP	鈴木	0
0	福永	FP	栗井	0
0	藤村	FP	金沢	0
0	通山	FP	本山	3
0	山根	FP	鳥本	6
15	(4)	PT	(4)	18

〔審・新橋・南波〕

得	〔江東〕		〔大体附〕	得
0	林	GK	黒岩	0
0	米田	GK	桜川	0
3	上田	FP	公原	1
0	花田	FP	安井	6
3	早川	FP	宮田	1
0	石田	FP	谷村	6
3	高畑	FP	横山	0
0	川下	FP	村上	2
0	福岡	FP	辻川	1
0	石井	FP	神在	0
0	坂根	FP	山田	0
0	島根	FP	沢田	4
0	二上	FP	遠山	0
0	山本	FP	里見	0
0	篠原	FP	角谷	0
9	(0)	PT	(0)	21

〔審・山辺・倉本〕

得	〔香川一〕		〔福栄〕	得
0	市坂	GK	小林	0
		GK	志田	0
1	境	FP	大羽	4
3	松浦	FP	高橋	3
1	井上	FP	佐藤	7
0	藤野	FP	内海	1
0	向井	FP	関口	0
2	小島	FP	杉村	5
0	藤沢	FP	鈴木	2
0	福岡	FP	前田	1
0	久保	FP	渡辺	0
0	花岡	FP	山田	0
0	小田	FP	宮坂	0
		FP	酒井	0
		FP	唐牛	0
7	(0)	PT	(4)	23

〔審・武田・小越〕

得	〔西笹川〕		〔大体附〕	得
0	川島	GK	黒岩	0
0	小林	GK	桜川	0
0	井方	FP	公原	2
1	久保田	FP	安井	4
7	江守	FP	宮田	0
5	石橋	FP	谷村	2
4	多湖	FP	横山	0
0	久保	FP	村上	0
0	栗本	FP	辻川	0
0	稲垣	FP	神在	0
0	吉畠	FP	山田	0
0	藤井	FP	沢田	1
0	石山	FP	遠山	0
0	寺前	FP	果見	0
0	中道	FP	角谷	0
17	(2)	PT	(1)	9

〔審・不明〕

得	〔東陵〕		〔福栄〕	得
0	中野	GK	小林	0
0	薫田	GK	志田	0
6	拓植	FP	大羽	0
0	松島	FP	高橋	0
0	高橋	FP	佐藤	3
3	橋本	FP	内海	1
0	鈴村	FP	関口	1
0	久野	FP	杉村	4
3	石井	FP	鈴木	0
0	伊藤	FP	前田	0
0	鈴木	FP	渡辺	0
0	栗井	FP	山田	0
0	金沢	FP	宮坂	0
1	本山	FP	酒井	0
0	鳥本	FP	唐牛	0
13	(1)	PT	(0)	9

〔審・横瀬・矢澤〕

得	〔東陵〕		〔西笹川〕	得
0	中野	GK	川島	0
0	薫田	GK	小林	0
3	拓植	FP	井方	0
0	松島	FP	久保田	0
0	高橋	FP	江守	2
2	橋本	FP	石橋	5
0	鈴村	FP	多湖	3
0	久野	FP	久保	0
6	石井	FP	栗本	1
0	伊藤	FP	稲垣	1
0	鈴木	FP	吉畠	0
0	栗井	FP	藤井	0
0	金沢	FP	石山	0
3	本山	FP	寺前	0
2	鳥本	FP	中道	0
16	(1)	PT	(0)	12

〔審・斉藤・千野〕

め手を欠きなかなか得点をあげられない。ディフェンスに冴える福栄は攻撃でも冴え、速攻、巧みなコンビプレーで徐々に加点、前半を11—3で終了。後半に入っても確実に得点を重ね、全く危げないゲーム展開で圧勝した。（近嵐）

準決勝

西笹川17〔10 7—3 / 10—6〕9大体大附

○…速攻の西笹川、セットプレー得意の大体大附。前半開始直後西笹川の速攻がたて続けに2本決まり、その勢いでディフェンス力に優る西笹川のペースでゲームが進められ、7—3とリードして前半を終了。後半、大体大附もスカイプレーで先手を取り、ペースをつかみかけたが、ディフェンスの良い西笹川を攻め切れず17—9で西笹川が勝った。（錦織）

東陵13〔7—5 / 6—4〕9福栄

○…カットインからのコンビプレーでサイドシュートに持ち込み得点を重ねる福栄も前に出るディフェンスの東陵にリズムを崩される。

後半に入りフォーメーションによる得点で追い上げる福栄だが、ロングシュートの決定力に勝る東陵が試合を決めた。（三浦）

決勝

東陵16〔5—7 / 11—5〕12西笹川

○…前半やや固さの見られる西笹川に対し東陵は石井のシュートなどで3—0とリードした。西笹川は7分石橋のロングで波に乗り9分栗本の速攻で3—3とした。更に11分石橋のたて続けのロングで7—5とリードして前半を終了。

後半、西笹川は江守のポストプレーで先行しペースに乗るかと思われたが、東陵は相手のパスミスにつけ込み、8分まで5点を連取し10—8と逆転した。その後西笹川はエースの石橋の2度の退場があってリズムを崩し、前半のリードを守り切れなかった。（倉本）

全国大会優勝までをふり返って

大きな試練を乗り越えて

愛知・東陵中学
本谷昌利

優勝が決まった瞬間、スーと肩が楽になり「やっと、ゆっくり眠れるなあ」と思いました。同時に、今日まで彼らと過ごしてきた毎日が次々と脳裏に浮かんできました。

彼らが入部した時、いがぐり頭のかわいらしい子供でした。この子たちが、この激しいスポーツが出来るのかと思った程でした。

夏、炎天下で倒れながら走りました。時にはどしゃぶりの中、泥だらけになりボールを追ったこともありました。冬、冷たい風の中、あかぎれで、指先から血を吹き出しながら、ボールを投げていました。雪の上で、すべりながら紅白戦をしたこともありました。

幼い子供たちが、よくこの暑さと寒さに耐えぬいたものです。そんな彼らの姿をみて、私も人並みの指導者にならねばと思い、指導書をかたっぱしから読みあさりました。何冊か読んでいくうちに、ルール、練習方法が少しずつわかっていきました。それとともに、ハンドボールの動きを見せるため、ビデオを購入し、他校の試合をカメラにおさめ、それを彼らに手本として見せることにしました。シュート、フェイント、セットプレー、速攻、ディフェンス、ゴールキーピングなどすべて他校の子供たちを手本として、練習しました。

すると、彼らは最初はものまねであったものが、いつのまにか自分なりに工夫して、自分のものへと変えてしまったのです。これはいいぞと私は思い、手本を全国から集めることにしました。

実業団の練習、大学の試合、高校総体、全国中学生大会などすべて見にゆき、ビデオにおさめてきました。そして、彼らにそれを与え続けました。

これをくり返すうち、彼らのチームカラーが生まれました。「速攻を身上とし、スピードあふれる攻撃を得意とする」です。

彼らは、実に研究熱心でした。子供の力は無限であることを私は教えられました。

しかし、何もかもが順調に進んでいたわけではありませんでした。多くの仲間が退部していきました。そして、一度部がくずれそうになった時がありました。忘れもしない今年の1月の事でした。

私は、冬休み中の学習として、和文英訳を毎日3課ずつ彼らに与えました。彼らが家でやってきたノートを私が下宿に帰ってから添削し、翌日の朝、彼らに返し間違えた文を5回ずつやり直しをし、再び私に提出するというものでした。

彼らは、朝9時から午後4時過ぎまで練習、それから6時過ぎまで学習という日程で、疲れがたまってきました。そして、とうとう答えを適当に写して提出する者が出てきました。それがわかった時、私はその行為を許すことは出来ませんでした。確かに疲れていることは事実で、私も同情はしていました。しかし、不可能な事ではないし、私自身も彼らと同様に夜中3時過ぎまでノートを添削していたのです。だから、その汚ない行為を私は許すことが出来ず、初めて部員を退部させました。

そして、私は退部させられた彼らが何らかの形で反省の態度を示してくれると私は期待しました。ところが、彼らは私の期待に反して、復部することを簡単にあきらめ、ユニフォームを私に返しにきたのです。

私は今まで彼らと共に必至で毎日を過ごしてきた自信がありました。それだけに私が受けたショックは言葉であらわすことは出来ないほどでした。また、彼らは自分で決心し、それぞれ結論を出したのではなく、彼ら4人で相談の上結論を出したことも私には残念で仕方がありませんでした。

この事件の余波は、他の部員にも影響を及ぼしていきました。2年が1人退部、それに連られるように1年が次々と退部し、2年7名、1年6名と半数以下になってしまいました。私は悔やしさと情けなさでいっぱいでした。残った子供たちも私と同じ気持ちでした。

私は、自分の信念を理解してくれた子供たちがかわいそうでなりませんでした。そして、彼らの夢を私が断ち切る権利はないと思い、私は自分の信念を生まれて初めて曲げ、退部させた4人を復部させました。同時に私は部から身を引くことを決意しました。それが教師としてとってはならない行為だということは百も承知で。

私が部から身を引いて、10日程たって、廊下である部員とすれちがった時、「最近、朝、練習しとるか」と聞いてやりました。すると彼はこう言いました。「天満社で、朝練やってます」（天満社は学校の近くの神社）私は、驚きました。私の学校は、朝の練習は誰か先生が必ずみえないとやってはいけないことになっていました。だから、学校の運動場を使えない彼らは、近くの神社の境内で自主トレーニングをしていたのです。

彼らは、今まで与えられた練習は、一生懸命やってきました。しかし、このように、自分たちで考え行動したのは初めてのことでした。私は本当に驚きました。と同時に感心しました。今までそんな行動をみたことがなかったわけですから。

それを知ってから数日後、主将が私のところに来て、こう言いました。

「先生、部にもどって下さい。4人は本当に反省しています」

私は、とても嬉しかった。何も言わず、私はうなづきました。主将の言ったとうり、退部させられた4名は心から自分たちの行為を反省し、私の気持ちをわかってくれました。しかし、残念なことに、彼らのあとを追ってやめた者たちは戻ってきませんでした。

この事件があって、復部した者を含め2年生11名は、精神的に一歩も二歩も成長しました。そして、退部した者らの穴をうめようと必死でした。

この後、名古屋市の冬の大会で、決勝では敗れましたが、再起をかける試合としてはすばらしい内容で、私も彼らも一筋の光明を見い出した思いでした。そして、彼らが3年に進級し、以後、あらゆる大会で勝利をおさめる事が出来たのは、この事件で子供らの心が一つになり、彼らに自主性が生まれたことが勝因であると私はしみじみ感じています。

女子

1回戦

神沢（愛知）15〔3―6、8―5、2―3、2―1〕15 御幸（石川）
2PTC1

○…前半7分頃までお互いパス、キャッチミスが続く。中頃から御幸のロング、神沢のフェイントから御幸の切り込みで応襲、御幸が6―3と前半をリード。後半、御幸のロングが決まらずリズムが崩れたのに対して神沢がブロックから早い切り込みで点を重ね、延長に入る。延長でもとうとう決着がつかず、結局PT戦で神沢が御幸を下した。（新妻）

操南（岡山）15〔7―3、8―4〕7 山田（香川）

○…前半は両チーム共ディフェンスが良くなかなかの戦いであったが、後半になって山田のシュートが決まらず、操南の速攻が試合を決定した。（川村）

桜木（東京）18〔8―2、10―6〕8 枝光北（福岡）

○…立ち上がり7分くらいまでは枝光北はよく押さえていたが、次第に桜木・執印のロングシュート、速攻などが決まり出した。その後、枝光北に退場などがあって桜木がリズムに乗り着々と加点。一方枝光北はロングシュートがないためにワンパターンで終った。（新妻）

鈴蘭台（兵庫）24〔9―1、15―2〕3 鳥取（北海道）

○…鈴蘭台の一方的な試合となった。動きの良さと勝島を中心に良くボールが回り、着実に得点を重ねた。後半に入って鳥取の疲れに乗じ速攻も加わり大差となった。一方、鳥取は動きも小さく、鈴蘭台の固いディフェンスを攻めきれなかった。（水口）

住吉（山口）9〔5―4、4―4〕8 多賀（滋賀）

○…開始直後両校共にシュートが決まらず、5分に多賀がようやく先制得点。8分に住吉が追いつき、その後1点を争う好ゲームとなり、5―4と住吉リードで前半を終了。後半に入って5分に同点、その後一進一退のゲームが続く。14分に住吉がPTを決め、その勢いで9―8で辛くも逃げ切った。（錦織）

西中原（神奈川）17〔11―4、6―5〕9 小杉（富山）

○…方ち上がり小杉が1点入れ良いペースになるかと思ったが、

得	〔神沢〕		〔御幸〕	得
0	江崎	GK	岡田	0
0	深尾		永江	0
6	山田	FP	西田	5
2	横井		谷下	5
2	田上		織本	1
3	西村	〔審・斉藤 千野〕	日向	0
0	藤本		中山	0
1	清水		田渕	0
0	小川		今江	0
0	池田		原	4
1	高木		西出	0
0	佐々木		酒田	0
0	今井		中谷	0
0	塚口		小前田	0
0	本田		中沢	0
15	(2)	PT	(1)	15

得	〔鈴蘭台〕		〔鳥取〕	得
0	宮島	GK	端	0
0	八田		柏木	0
2	柿並	FP	加賀谷	1
3	山田		黒井	0
7	勝島		吉川	2
2	中田	〔審・武田 小越〕	伊良子	0
2	大塚		野田	0
7	大塚		斉藤	0
0	浜辺		滝川	0
0	林		平野	0
0	井藤		斉藤	0
1	前田		森井	0
0	木下		橋本	0
0	村田		工藤	0
0	島		和田	0
24	(1)	PT	(1)	3

得	〔操南〕		〔山田〕	得
0	岡野	GK	嶋村	0
0	田中		小川	0
0	逸見	FP	久保	0
0	八尋		熊野	1
0	栗山		村越	0
0	高田	〔審・矢沢 横瀬〕	小川	1
0	那須		溝渕	0
0	小野		多田	3
1	谷口		小原	2
3	岩城		溝渕	0
0	穂山		中井	0
3	橋本		飯間	0
2	豆崎		森	0
6	野崎		柳原	0
0	出井		山下	0
15	(1)	PT	(0)	7

得	〔住吉〕		〔多賀〕	得
0	徳原	GK	円城	0
0	日坂		柳池	0
2	村田	FP	大矢	5
0	吉岡		友本	0
0	中嶋		岸本	0
2	大前	〔審・宮崎 長谷川〕	高木	0
0	河村		谷川	3
4	大山		原田	0
1	後藤		夏原	0
0	藤田		重盛	0
0	吉岡		中居	0
0	河繁		土田	0
0	松村		藤本	0
0	徳本		浅井	0
			喜多	0
9	(1)	PT	(0)	8

得	〔桜木〕		〔技光北〕	得
0	竹下	GK	高野	0
0	加藤		塚本	0
4	執印	FP	高野	2
6	村田		並松	2
0	臼井		西岡	0
0	田谷	〔審・倉本 山辺〕	藤田	0
1	山梨		宮本	3
0	柳原		帆足	0
0	坂本		小田	1
0	中沢		相良	0
3	木下		佐藤	0
2	槇		高松	0
2	日下部		河野	0
0	鹿目		松本	0
0	伊藤		白木	0
18	(1)	PT	(2)	8

得	〔西中原〕		〔小杉〕	得
0	坂本	GK	和田	0
			田守	0
3	佐藤	FP	島木	5
0	高野		荒崎	0
2	森田		島	1
3	奥山	〔審・山辺 倉本〕	末本	0
2	山田		竹腰	0
2	小笠原		矢田部	3
2	井上		表	0
3	土沢		熊本	0
0	磯崎		坂又	0
0	松井		杉原	0
0	郡司		中山	0
0	松田		橋本	0
			堀	0
17	(3)	PT	(1)	9

◆第14回全国中学校大会

西中原の方が早く良いリズムに乗って速攻、ロング、フェイントと加点していった。後半は小杉が両サイドからの走りを止めたため小杉ペースになりかけたが、ポストプレーに良い動きが見えた西中原の勝利であった。（新妻）

二　瀬 20 〔13—2 / 7—4〕 6 湯　川
（福島）　（北海道）

○…開始直後お互いにペースをつかめず得点出来なかったが、7分過ぎに徐々にペースに乗った二瀬は、湯川のパスミスや甘いシュートを速攻につなぎ、前半13—2と得点差を広げた。後半も二瀬のペースで、選手をチェンジさせるなどの余裕のある試合であった。

（記入者不明）

明　野 13 〔7—3 / 6—6〕 9 西笹川
（大分）　（三重）

○…前半10分まで互角の戦いだったが、スピードに勝る明野がサイド攻撃、速攻と相手のペースに乗じて徐々に点差を広げる。後半西笹川がカットインプレー、フリースローからのトリックプレーで反撃したが、前半の点差を縮めることが出来なかった。（村本）

2回戦

住　吉 16 〔7—2 / 9—4〕 6 二　瀬

○…前半10分まで2—2と全く互角の試合展開であったが、住吉はコンビプレー、速攻で2点を連取、ペースをつかみ、その後も着実に加点、前半を7—2とリードで折り返した。後半に入り攻撃に決め手を欠く二瀬はミスを連発、住吉はこの機を逃さず攻めまくりゲームを決めた。（近嵐）

桜　木 21 〔9—7 / 6—8 / 2—1 / 4—0〕 16 神　沢

○…まず口火を切ったのは1分10秒、神沢。しかし、神沢のパスミスが目立ち、桜木が3分に得点するとペナルティー3本を含め9得点、前半を9—7とリード。後半もシーソーゲームを展開、同点のまま延長に入る。延長に入ると桜木が早い動きで神沢を圧倒、動きの止まった神沢に5点差をつけてふり切った。大変好ゲームであった。（中島）

操　南 15 〔7—4 / 8—8〕 12 鈴蘭台

○…立ち上がりセット攻撃に苦しむ両チームは、速攻で得点のチャンスを狙うが、初歩的なミスにより試合のリズムをつかめないまま前半を終了。後半に入って鈴蘭台・勝島のロングが決まり巻き返しを計ったが、相変らずオーバーステップが目立ちシュートにつながらないことが試合の結果につながったようだ。（三浦）

得	〔二瀬〕		〔湯川〕	得
0	田母神	GK	菅原	0
0	大河内		沢部	0
0	安藤	FP	長谷川	4
6	鈴木		木下	1
0	先崎		国領	0
2	小林	〔審・小越	小野寺	0
2	中畑	武田〕	三浦	0
0	大河内		中村	1
2	小林		小向	0
3	植田		滝江	0
0	佐藤		平沢	0
1	星		佐々木	0
1	梢		福津	0
0	柏原		大地	0
3	川井			
20	(1)	PT	(0)	6

得	〔桜木〕		〔神沢〕	得
0	竹下	GK	江崎	0
0	加藤		深尾	0
11	執印	FP	山田	7
2	村田		横井	0
0	臼井		田上	0
0	田谷	〔審・南波	西村	4
1	山梨	宮崎〕	藤本	1
0	柳原		清水	0
0	坂本		小川	0
2	中沢		池田	0
2	木下		高木	4
2	槇		佐々木	0
1	日下部		今井	0
0	鹿目		塚口	0
0	伊藤		本田	0
21	(3)	PT	(2)	16

得	〔明野〕		〔西笹川〕	得
0	平尾	GK	鍋島	0
0	中島		黒田	0
4	高浪	FP	石田	5
0	祖田		永峰	1
0	末綱		福井	1
3	鈴木	〔審・佐藤	伊藤	0
2	今泉	林〕	横山	0
1	吉永		山際	0
3	奈良井		工藤	2
0	下城		中川	0
0	渡辺		瀬古	0
0	古川		岡	0
0	角谷		野中	0
0	飛延		利田	0
0	長田		生川	0
13	(1)	PT	(1)	9

得	〔操南〕		〔鈴蘭台〕	得
0	岡野	GK	宮島	0
0	田中		八田	0
0	逸見	FP	柿並	1
0	八尋		山田	2
0	栗山		勝島	6
0	高田	〔審・千野	中田	0
0	那須	斉藤〕	大塚	0
0	小野		大塚	3
2	谷口		浜辺	0
2	岩城		林	0
2	稲山		井藤	0
3	橋本		前田	0
0	豆崎		木下	0
6	野崎		村田	0
0	出井		島	0
15	(2)	PT	(0)	12

得	〔住吉〕		〔二瀬〕	得
0	徳原	GK	田母神	0
			大河内	0
2	村田	FP	安藤	0
0	吉岡		鈴木	3
1	中嶋		先崎	1
8	大前	〔審・小越	小林	0
1	河村	武田〕	中畑	1
4	大山		大河内	1
0	後藤		小林	0
0	藤田		植田	0
0	吉岡		佐藤	0
0	河繁		星	0
0	松村		梢	0
0	徳本		柏原	0
			川井	0
16	(1)	PT	(0)	6

得	〔西中原〕		〔明野〕	得
0	坂本	GK	平尾	0
			中島	0
2	佐藤	FP	高浪	6
0	高野		祖田	0
2	森田		末綱	0
8	奥山	〔審・矢澤	鈴木	7
4	山田	横瀬〕	今泉	6
0	小笠原		吉永	2
6	井上		奈良井	1
1	土沢		下城	0
0	磯崎		渡辺	0
0	松井		古川	0
0	郡司		角谷	0
0	松田		飛延	0
0	土橋		長田	0
23	(1)	PT	(4)	22

西中原23（9－9／14－13）22明野

○…明野の先取点で始まったがその後7分には4－1と西中原リード。しかし、17分に明野が追いつき結局9－9で前半を終了。後半30秒、今度は西中原が先制。しかしすぐに明野も同点に追いついたが、3分過ぎ明野・下城の退場の間に西中原がリードを奪い、結局1点差で逃げ切った。（水口）

準決勝

桜木14（7－5／7－3）8住吉

○…両チーム共スピード面、決定力で今一つ。しかし、桜木のポイントゲッター・執印のロングシュートが良く決まり、前半7－5とリード。住吉も相手のシュートミス、パスミスから速攻で反撃したが及ばなかった。（村本）

西中原25（15－7／10－5）12操南

○…西中原は前に出る積極的なディフェンスで操南を寄せつけず立ち上がりから足をつかった攻撃を展開、前半を15－7とリード。後半に入って操南もよく反撃したが、西中原は着実に加点してふり切った。（近嵐）

決勝

桜木13（6－5／7－5）10西中原

○…序盤、両チーム共に固さが目立ちイージーミスが続いた。前半2分20秒、桜木がサイドで先制、続いてポストプレーで得点2－0とする。西中原は6分過ぎにようやく初得点。その後、桜木はサイド攻撃、西中原は速攻からポストへのつなぎと互いに持ち味を出しての攻防を展開。

後半に入っても一進一退が続いたが、西中原に速攻でのパスミスが目立ち、11分過ぎ桜木・執印がPTを決めて2点差とする。西中原も速攻やポストプレーで食い下がったが、イージーミスから逆速攻を受け、残り3分から徐々に引き離されてしまった。（佐藤）

得	〔桜木〕		〔住吉〕	得
0	竹下	GK	徳原	0
0	加藤			
7	執印	FP	村田	3
2	村田		吉岡	0
0	臼井		中嶋	2
0	田谷		大前	1
2	山梨		河村	1
1	柳原		大山	1
0	坂本		後藤	0
0	中沢		藤田	0
2	木下		吉岡	0
0	槇		河繁	0
0	日下部		松村	0
0	鹿目		徳本	0
0	伊藤			
14	(2)	PT	(0)	8
		〔審・山辺・倉本〕		

得	〔西中原〕		〔操南〕	得
0	坂本	GK	岡野	0
			田中	0
5	佐藤	FP	逸見	0
2	高野		八尋	0
2	森田		栗山	0
3	奥山		高田	0
3	山田		那須	0
2	小笠原		小野	0
3	井上		谷口	2
2	土沢		岩城	3
0	磯崎		穂山	0
3	松井		橋本	4
0	郡司		豆崎	2
0	松田		野崎	1
			出井	0
25	(4)	PT	(2)	12
		〔審・林・佐藤〕		

得	〔桜木〕		〔西中原〕	得
0	竹下	GK	坂本	0
0	加藤			
1	執印	FP	佐藤	2
1	村田		高野	0
0	臼井		森田	2
0	田谷		奥山	2
1	山梨		山田	0
0	柳原		小笠原	1
2	坂本		井上	2
0	中沢		上沢	1
4	木下		磯崎	0
4	槇		松井	0
0	日下部		郡司	0
0	鹿目		松田	0
0	伊藤			
13	(1)	PT	(1)	10
		〔審・横瀬・矢澤〕		

全国大会優勝までをふり返って

初づくめの中での「優勝」

東京・桜木中学
加藤益弘

　全国大会へは、2年連続2回目の出場となりました。力を十分に出し切れないまま2回戦で敗退した昨年の大会を忘れず、思いきった試合をして多く勝とうと乗り込んだ今大会でした。

　思ったより暑い天候で、体調をくずさないよう心がけさせるのにずいぶんと気をつかった大会でした。

　大会では、昨年と同様に2回戦で愛知県チームと対戦しました。前半のリードが守れず残り5分で2点リードされ、残り1分で追いつき延長戦でやっとふり切るという苦しい試合でした。

　決勝戦は、今季一番つらい思いをした関東大会で敗れた西中原中が相手でした。一進一退のゲームの残り3分位で、速攻で連取して優勝のタイムアップの笛を聞きました。関東大会で悔やしく聞いた笛とは違って本当にうれしく響きました。

　我校の歴史上初の全国大会優勝。そして、東京都の代表（女子の部）の優勝も初。初づくめの中での「優勝」でした。夢のようなほんとうに信じられないくらいの出来事でした。

　思えば、ハンドボールと関わって14年、チームを指導して7年。「全国制覇」の四文字を実現しようと、生徒と共にボールを追いかけた毎日でした。あたりまえの事ですが、ずいぶんと苦しい、にがい思いをしてきたように思います。しかし、その代価にあまりあるほどの喜びを味わうことが出来たことは、生涯でかけがえのないすばらしい出来事でした。7年という歳月がそのように短かく感じられました。

　中学生を指導するようになって3年。それ以前は、前任の青鳥養護学校に勤めるかたわら佼成学園女子高を指導した4年間。ただがむしゃらに練習の明け暮れを続けたように思われます。その中で、今年の4月からは男女を指導するようになり、増して気持ばかりが先行し空回りの連続でした。生徒の気持が離れ、じりじりとした気持で好展開を見せない現状にずいぶん悩みました。それにも増して技術的な指導の行きづまりもはなはだしかった。何をしても上手に行きそうもないもどかしさがつきまとっていたように思われます。

　そんな折、学生時代からの恩師である中大附属高の川上先生よりきめ細かな助言をいただき、少しづつ視野の広がりを感じられるようになれたのではないかと思います。ほんの少しづつですが、現状を切り開いていけたように思えました。



　自信のないまま、無駄ばかりと思える毎日の中で生徒たちがこれほどの成長を見せてくれたことは、指導するからには勝ちたい、全国優勝をしたい、と思う私自身と私の指導力との格差をうめてくれた生徒たちの努力の結果に相違ないと思います。微力な私としては、ほんとうに救われる思いでした。

　ふり返ってみると、様々な方に強固なまでに支えていただいたように思います。恩師の川上先生、練習を共にして下さった佼成学園女子高の楠本部長先生、坂田監督。後援会の会長館田さん、暖かく見守ってくれた父母、そしてOG、OBたち、厳しい練習によくがんばり通した選手たち、様々な方々に深く敬意を表わし感謝したいと思います。

■第14回全国中学校大会を終了して■

多くの人々の協力を得ての大会運営

第14回全国中学校大会事務局長
近野　功

選手、関係者で千名を越える参加者

例年8月のお盆が過ぎると涼しい風が吹き始める北海道も、今年はどうしたものか、連日30度を越す真夏日が続いた。

そのような暑さの中で、昭和60年度全国中学校選抜競技大会、第14回全国中学校ハンドボール大会が、当函館市で開催されることになった。

函館市は、北海道の最南端に位置し、我が国最初の貿易港として古くから栄え、今なお往時のなごりを随所に残す、歴史と文化の香が漂う街として、私たち市民も誇りに感じているところである。

全国9ブロックから選抜された32校、約一〇〇〇人を越すであろう選手や大会関係者を温かく迎えるために、どこに力を入れ、どのような大会を指向したならよいかを真剣に考え、「選手たちが気持ちよくプレーに専念し、函館大会が一生の思い出となる」ことを基本的におさえながら大会準備に当たって来た。既に59年度から発足している「全国中学校選抜競技大会北海道実行委員会」の中で14種目の基本的な開催要領や基準が確認され、北海道全体として本大会を成功させるための話し合いが積み重ねられて来たのである。

本年2月には、函館市実行委員会も発足の運びとなる。本大会の主催4団体（全国中学校体育連盟、財団法人日本ハンドボール協会、北海道教育委員会、函館市教育委員会）に関連する地元開催地の人たち26名で組織する会であり、実行委員長に阿部光房函館市中学校体育連盟会長が選出された。また、4月には、函館市立大川中学校の室に大会事務局が設置される。事務局といっても当面は事務局長の私一人の仕事場なのである。それでも6月に入って、教育委員会の計らいで私の代替教員が配置されて専任の身となり、さらに事務局専用電話も架設されると各種業務も一気にはかどって行くことになる。

8月9日の締切りが迫ると、各校から続々と申込書が届き1日中その処理に追われ、大会準備も渦中に入った感が強い。

ブロックによっては、大会期日が若干遅れているところもあり、とりあえず電話で申し込みをして来る学校もある。学校名や選手名簿の確認、宿舎や乗り物の確保など、事務局の電話のベルは終日鳴りっぱなしで、これに応対する私たちも汗だくというところである。大会を間近に控えて最も慌しく、緊張する時でもある。今後は、全国大会の期日に合わせた各ブロック大会の日程設定を図り、少なくとも本大会2週間前には完全に出場校が出揃い、参加申し込みが完了出来ればよいと思っている。

夏の北海道の気候や自然への憧れもあるためか、例年に比較して参加申し込みの人数も多い。生徒589名、引率者94名、応援父母209名（地元を除く）となり、大会役員、審判、補助生徒などを含めると裕に一〇〇〇名を越える大会参加者となるが、準備に当たる我々としても嬉しい限りである。

事務局も8月の声を聞くとが然多忙を極めることになる。総務、庶務、会場、競技、式典、広報、宿泊輸送、救護、接待の各部は、連日部長が中心となって打ち合わせ会議や準備作業に大童である。事務局の小さな部屋も日増しに活気を呈し、印刷物や小道具が所狭しと置かれていく。そんな合間を縫うように動き回る係の顔も汗でびっしょりである。

北海道の場合は、他ブロックと違い専門部が確立されず、大会運営等も含めてまだ十分機能していないのが現状であり、従って大会運営に当たるのは、全員が中学校体育連盟（体育担当者）の先生方である。函館市においても約70名の体育教師が中心になって、当市の教育委員会の担当者やハンドボール協会の役員と連携をとりながら具体的な業務を進めて来たのである。

夏休みに入ったとはいえ、体育教師は、水泳指導や課外クラブ、そして各種大会への引率などと例年のように多忙な時期でもあり、これと平行して行なわれる大会運営も並み大程のことでは出来ないのである。

夜8～9時まで仕事や打ち合わせをすることも度々あり、まさしく八面六臂の大活躍といっても過言ではないと思う。

大会の成功に向けて各部が大奮闘

8月5日、市内16か所に看板が設置される。会場部のT部長が中心となり、炎天下の作業は結構きついものだが、これで大会ムードも一段と高まったといえる。

遠来の選手たちが、思う存分競技に専念出来るようにするためにも会場部の果たす役割は大きい。公式練習の場となる湯川中学校でも、渇き切ったグラウンドの整備に汗を流して来た。雨天の場合も予想して、市内6校の屋内体育館も借用し、いつでも使用出来るように準備をして来た。ライン引きやゴール運搬など当然のことながら会場部の先生方の作業となる。また、心よく手伝って下さった当該校の先生方や生徒諸君にも頭の下がる思いである。

選手たちのコンディショニングに欠かせないものの一つに宿泊施設がある。大会期間中は、選手にとっても英気を養う場であり、明日の試合の作戦を立てる所にもなるのであるが、幸い函館市は、宿舎には恵まれている上、本大会の輸送宿泊を引き受けてくれた業者も誠心誠意尽してくれたことに感謝しているし、宿泊担当の部員の先生方も早朝から空港や駅頭に立っての出迎えや案内によく頑張ったものだ。それに、協会の配慮で出迎えのバスが配備されたことも、初めて来る各校の選手や監督にとっては、不案内な土地で大いに喜ばれたことであろう。



その他数えあげれば限りがないが、競技部は、オフィシャルの先生や生徒が一体となって、事前の講習会を開催して本大会に備えて来たし、関係医療機関との事前連絡や養護教諭にも手伝いを依頼して、救急対策に万全を期する救護部の気遣いも目立たないが立派なものである。

大会期間中は、さほど大きな事故やけが人が出なかったのは幸いであるが、沖縄から駆けつけた父親が、旅の疲れと自校の惜敗によるショックのため病院へ運ばれる一幕もあり、ハンドボールに対する熱の入れように感心した。その父親は間もなく元気になられたが、大会運営のすばらしさや役員の親切さを絶賛してくださったことに、私たちは、大会運営の苦労も忘れる思いをしたものである。

また、暑い中の競技場内は、あたかも蒸し風呂のようであり、選手も審判も汗びっしょりの奮闘ぶりであった。そのような状態の中で、審判や役員への冷いおしぼりや飲料水のサービスも欠かせないもので、献身的に務めた接待部の活躍も目についた。

各チームへ配布する大会速報は、事前準備も含めて結構気配りの必要な仕事である。それに本大会では初の試みとして行なわれたテレファックスを活用しての試合結果のセンター収集方式も含めて、広報部の緊張した仕事ぶりも立派なものである。

大会の盛り上がりは、競技そのものがいかにスムーズに運営されるかにあるが、今年は特にラフプレーも少なく、随所に熱戦が展開されるなど印象に残る試合が多かったことは、審判長をはじめ審判員の方々に深く敬意を表するところであるが、もう一つ大会に華を添えるセレモニーとして、開・閉会式がある。式典部は、全神経をこれに傾注し、綿密な計画と何回かのリハーサルを積み重ねて当日に備えたものだ。既に北海道実行委員会で確認され

式典における基本的な形式は、てはいるが、特に、真夏の中学生の大会であることを考えて、可能な限り簡素に短く、そしてその中に式典としての厳しゃくさや、中学生らしいさわやかさも取り入れようと配意してきたところであるが、どうやら盛会裏に終えることが出来たと自己満足している。

こうした式典の盛り上がりの陰には、地元湯川中学校の生徒諸君の活躍も見逃せない。事前練習も含めて猛暑の中をプラカードで先導してくれた生徒たちや立ったまま一糸乱れぬ演奏によって入場行進を見事に演出した吹奏楽部の指揮者や生徒たちにも心より感謝したい。

一つの大会を開催するためには、幾人もの陰の力がなければ成功しないとは思うが、このことは決して図式や計算ではじき出されるものではなく、役員や係の人たちの真心が積み重なってこそ大会が成立することを実証出来たことは大きな収穫である。

これを刺激に北海道の今後の躍進を

こうした大会運営の苦労を吹き飛ばすかのように、競技は、各試合とも熱戦が展開された。

1会場2面のコートを設定せざるを得ない事情はあったものの、競技者にとってはやや手狭で、思い切ったプレーが出来たかどうかと心配している。しかし、観戦、応援する側にとっては、非常に便利であり、例年になく応援に熱が入ったことは、会場が1か所なるが故の利点でもあると考えている。

結果的には、男子が東海ブロック、女子が関東ブロック同士の決勝戦となったが、優勝した東陵中（男子）と桜木中（女子）に対して大会関係者全員で心から祝福の拍手を送りたい。

また、実力的に見ると差はなく、惜しくも僅少差で敗れたチームが数多くあった。しかし、一方では大差の試合が幾つかあり、地域によって実力差がまだあることも明らかになった大会である。残念ながら北海道は、技術的にも普及度の上からも本州各ブロックの後塵を拝している現状にあるが、本大会がよい刺激となって今後の躍進につながることを期待している。

さらに、日本ハンドボール協会が、各都道府県の協会を通して指導性を十分発揮されるなかで、全国各地のハンドボール人口の掘り起こしや底辺の拡大に力を入れ、低年齢層が、ハンドボールを楽しく興味を持って行なったり、観戦出来る機会を多くつくってくれることを望んで止まないところである。

最後に、本大会開催に当たり多大な御支援御協力をいただいた関係者に心より感謝申し上げるとともに、中学生の全国大会が、質素でもよいから、教育的に配慮がなされる中で、さらに充実発展し続けることを願っている。

第28回全日本教職員選手権

（8月8日〜12日 山梨県塩山市）

男子

▼1回戦

千葉教員（千葉）	40－16	山口県教員団B（山口）
スワロー兵庫（兵庫）	35－21	三重教員B（三重）
大阪教員（大阪）	32－19	青森教員（青森）
栃の葉ク（栃木）	33－14	静岡県教員団（静岡）
宮崎教員（宮崎）	33－15	岩手教員ク（岩手）
和歌山ク（和歌山）	27－25	新潟教員ク（新潟）
若潮ナッツ（千葉）	37－19	オールド滋賀（滋賀）
岡山白桃ク（岡山）	29－16	知多ク（愛知）
富山教職員A（富山）	22－18	東京教員（東京）
沖縄教員（沖縄）	26－23	埼玉教員ク（埼玉）
ATF（愛知）	18－16	広島県教職員A（広島）
岩手フェザント（岩手）	39－16	若潮ク（千葉）
長野教員（長野）	26－25	大阪ハンターズ（大阪）
埼玉（埼玉）	32－19	滋賀ハンターズ（滋賀）
愛知教員A（愛知）	25－23	宮城教員団（宮城）
山口県教職団A（山口）	41－7	鹿野ク（奈良）
熊本教員ク（熊本）	30－14	三重教員A（三重）
神奈川教員B（神奈川）	22－17	京都教員A（京都）
香川教員（香川）	26－25	愛知教員B（愛知）
福岡教員（福岡）	29－16	富山教職員B（富山）
福島ク（福島）	32－24	ロイヤルスワロー（兵庫）
福井教員（福井）	32－15	広島県教職員B（広島）
滋賀教員（滋賀）	38－26	岐阜教員（岐阜）

▼2回戦

わかくさ（奈良）	18－17	千葉教員
スワロー兵庫	25－22	大阪教員
栃の葉ク	32－23	愛媛教員ク（愛媛）
神奈川教員A（神奈川）	26－20	宮崎教員
山梨教員（山梨）	32－15	和歌山ク
若潮ナッツ	32－22	岡山白桃ク
沖縄教員	23－15	富山教職員A
京都教員B（京都）	33－13	ATF
大阪イーグルス（大阪）	27－19	岩手フェザント
長野教員	28－25	埼玉
山口県教職員団A	25－15	愛知教員A
熊本教員ク	25－20	茨苑ク（茨城）
岡山教員（岡山）	28－20	神奈川教員B
福岡教員	29－22	香川教員
福井教員	21－18	福島ク
滋賀教員	25－19	あかぎク（群馬）

▼3回戦

わかくさ	26	13－6, 13－15	21 スワロー兵庫
栃の葉ク	36	21－10, 15－15	25 神奈川教員A
若潮ナッツ	31	14－7, 17－9	16 山梨教員
京都教員B	24	12－10, 12－9	19 沖縄教員
大阪イーグルス	34	16－6, 18－6	12 長野教員
山口県教職員団A	30	1－1, 2－1, 11－16, 16－11	29 熊本教員ク
岡山教員	26	13－13, 13－7	20 福岡教員
滋賀教員	28	8－7, 20－12	19 福井教員

▼4回戦

栃の葉ク	25	12－6, 13－12	18 わかくさ
京都教員B	27	12－6, 15－6	12 若潮ナッツ
大阪イーグルス	23	15－11, 8－10	21 山口県教職員団A
滋賀教員	29	15－12, 14－10	22 岡山教員

▼準決勝

栃の葉ク	32	13－9, 19－8	17 京都教員B
大阪イーグルス	21	14－7, 7－12	19 滋賀教員

▼3位決定戦

滋賀教員	25	13－10, 12－10	20 京都教員B

▼決勝

栃の葉ク	39	20－11, 19－10	21 大阪イーグルス

女子

▼1回戦

埼玉小鳩教員（埼玉）	16－7	大阪女子教員A（大阪）
兵庫教員風見鶏ク（兵庫）	23－6	茨苑女子ク（茨城）
神奈川教員女子（神奈川）	36－6	滋賀教員（滋賀）
群馬教員（群馬）	31－9	宮崎県教職員（宮崎）

▼2回戦

千葉ク（千葉）	18－15	埼玉小鳩教員
栃の葉女子職員（栃木）	17－13	兵庫教員風見鶏ク
神奈川教員女子	19－16	大阪女子教員B（大阪）
愛知教員女子ク（愛知）	27－15	群馬教員

▼準決勝

千葉ク	24	13－6, 11－7	13 栃の葉女子教員
愛知教員女子ク	28	12－11, 16－12	23 神奈川教員女子

▼3位決定戦

神奈川女子教員	19	8－7, 11－11	18 栃の葉女子教員

▼決勝

愛知教員女子ク	38	22－11, 16－6	17 千葉ク

第5回全国クラブ選手権

（8月8日〜10日 東京都立川市）

〈男子〉

▼予選リーグ

○A組

岩国ク 19—18 富岡ク
（山口）（群馬）
岩国ク 20—17 小松ク
（石川）
富岡ク 23—20 小松ク
［順位］①岩国ク②富岡ク③小松ク

○B組

日川ク 29—16 高知ク
（山梨）（高知）
本田ク 23—6 盛岡商友会
（三重）（岩手）
日川ク 24—16 本田ク
高知ク 21—19 盛岡商友会
日川ク 28—12 盛岡商友会
本田ク 32—14 高知ク
［順位］①日川ク②本田ク③高知ク④盛岡商友会

○C組

桜門ク 40—11 八幡ク
（東京）（滋賀）
桜門ク 28—15 静農ク
（静岡）
静農ク 22—22 八幡ク
［順位］①桜門ク②静農ク③八幡ク

○D組

アシックスク 30—11 花巻ク
（鳥取）（岩手）
アシックスク 31—10 笠間ク
（茨城）
花巻ク 27—16 笠間ク
［順位］①アシックスク②花巻ク③笠間ク

○E組

大電会 22—20 学芸球駿会
（大分）（東京）
大電会 31—19 江津ク
（島根）
学芸球駿会 27—16 江津ク
［順位］①大電会②学芸球駿会③江津ク

○F組

ラージェストク 24—17 雪陵ク
（東京）（大阪）
ラージェストク 23—20 柏崎ク
（新潟）
雪陵ク 30—21 柏崎ク
［順位］①ラージェストク②雪陵ク③柏崎ク

▼決勝トーナメント1回戦

本田ク 27（13—10, 14—7）17 雪陵ク
大電会 39（24—12, 15—13）25 静農ク
花巻ク 26（11—12, 15—8）20 ラージェストク
学芸球駿会 27（15—12, 12—9）21 富岡ク

▼2回戦

本田ク 33（18—6, 15—6）12 岩国ク
アシックスク 31（15—8, 16—10）18 大電会
桜門ク 33（16—10, 17—9）19 花巻ク
日川ク 24（12—11, 12—9）20 学芸球駿会

▼準決勝

アシックスク 33（14—9, 9—9）18 本田ク
桜門ク 34（5—3, 5—5, 13—12, 11—12）32 日川ク

▼3位決定戦

本田ク 31（16—13, 15—12）25 日川ク

▼決勝

アシックスク 22（12—4, 10—11）15 桜門ク

〈女子〉

▼予選リーグ

○イ組

アシックスク 16—5 日川ク
（鳥取）（山梨）
アシックスク 8—8 あゆみク
（三重）
あゆみク 15—8 日川ク
［順位］①アシックスク②あゆみク③日川ク

○ロ組

神埼ク 13—5 広島ク
（佐賀）（広島）
ポストク 13—8 雪陵ク
（静岡）（大阪）
神埼ク 12—5 雪陵ク
ポストク 13—8 広島ク
神埼ク 8—6 ポストク
広島ク 14—7 雪陵ク
［順位］①神埼ク②ポストク③広島ク④雪陵ク

○ハ組

武蔵野ク 11—4 熊本イースターズ
（東京）（熊本）
武蔵野ク 16—12 白梅三英美会
（岩手）
熊本イースターズ 16—6 白梅三英美会
［順位］①武蔵野ク②熊本イースターズ③白梅三英美会

○ニ組

古都ク 15—8 光電ク
（京都）（群馬）
古都ク 9—8 全福井
（福井）
光電ク 19—9 全福井
［順位］①古都ク②光電ク③全福井

▼決勝トーナメント1回戦

熊本イースターズ 10（2—5, 8—2）7 アシックスク
古都ク 14（8—5, 6—5）10 ポストク
あゆみク 14（6—6, 8—6）12 武蔵野ク
神埼ク 14（6—5, 8—5）10 光電ク

▼準決勝

古都ク 13（6—3, 7—6）9 熊本イースターズ
神埼ク 15（6—9, 9—4）13 あゆみク

▼3位決定戦

両者棄権。

▼決勝

古都ク 13（4—5, 9—6）11 神埼ク

第12回全国高専大会

▼1回戦

宇部 27（15—3, 12—6）9 長岡
八代 35（19—6, 16—11）17 鳥羽商船
富山 15（7—6, 8—6）12 桐蔭学園
岐阜 19（10—9, 9—4）13 東京

▼2回戦

宇部 23（11—8, 12—11）19 明石
八代 29（13—13, 16—7）20 釧路
富山 23（10—11, 13—2）13 秋田
大阪府立 29（11—7, 18—6）13 岐阜

▼準決勝

宇野 20（8—10, 12—7）17 八代
富山 24（15—7, 9—9）16 大阪府立

▼決勝

宇野 19（10—4, 9—8）12 富山

第12回全国教員養成大学研修会報告



　将来教員を目ざす大学生を対象として毎年開催されているこの研修会も今年で12回目に至っている。本年も、7月23日～7月27日まで筑波大学で開催された。
　参加者は年々増加の傾向にあるが、本年も、昨年度より1名増の226名となり、運営の方としても大変な事業となっている。

1．役員、講師、補助員

　大西武三、本田娟一、村松誠、李寿昶、飯田信行、高松薫、小山哲央、平岡秀雄、水上一、大村久、岡本研二、河村英明、河村レイ子、土井秀和、佐藤靖、笹倉清則、清水宣雄、酒井俊郎、杉森弘幸、遠藤均、筑波大学男女ハンドボール部。

2．参加チーム

〈男子〉国際武道大12名、横浜国立大3名、茨城大6名、都留文科大13名、群馬大2名、滋賀大6名、山形大9名、福島大6名、信州大12名、広島大12名、香川大1名、熊本大8名、筑波大8名、計98名。
〈女子〉茨城大8名、日本大4名、文教大9名、創価大9名、都留文科大11名、横浜国立大4名、駒沢大3名、千葉大11名、滋賀大8名、岩手大4名、奈良女子大9名、静岡大9名、京都女子大9名、山形大10名、信州大7名、筑波大7名、福島大6名、計128名、男女合計226名。

3．研修会賞

　午前、午後の練習の最後に、技術、戦術のまとめとしてミニゲームが行なわれるが、ミニゲームの成績の良いチームに研修会賞としてトロフィーが贈られた。また、上位5位までのチームには、スポーツイベント提供の雑誌が男女それぞれ贈られた。本年度は、男子研修会賞は広島大学、以下、国際武道大学、山形大学、都留文科大学、信州大学、女子研修会賞は、日本大学、駒沢大学、岩手大学の連合チーム、以下、茨城大学、文教大学、山形大学、千葉大学の順であった。

4．講習内容

　午前は主に基礎的な技術の講習を、経験別グループに分れて行なわれ、技量に応じた形で練習出来るようになっている。午後は主にチームプレーの講習が行なわれる。同一大学でチームを組むが、人数の少ないチームは連合チームを作って練習を行なっている。
　夜は、1日目はオリエンテーション、2日目、4日目は、①トレーニング、②初歩的段階における全般的Q＆A、③中級段階における全般的Q＆A、④5年以上経験者に対するQ＆A、⑤ルールと審判、⑥VTR、の中から選択制とし、希望グループに分けて講習を行なった。また、4日目は、GK必修のGK理論の講習を行なった。3日目の夜は、チームミーティングとし、チームの独自性にまかせている。
　また、本年度は、4日目午後の講習に、小学生のミニハンドボールのデモンストレーションゲームが行なわれ、学生たちの意欲向上に役立ったと思われる。
　講習内容は、グループやチームによって異っているが、だいたい次のようなものである。

▼研修日誌より

◇7月24日〈午前〉天候・晴れ、場所・新多目的グラウンド、チーム名・文教大学(C)、講師名・水上先生、記入者・米丸玲子。
〈教育内容〉・ドリブルからのシュート、・2人が2ポイントからドリブルして、2人のうちの1人がシュート（キー練を兼ねて）・1対1のフェイントの練習、ジャンプストップ、ストライドストップを使っての練習。ディフェンスの練習。・2対2の練習、必ず1人目が1対1でフェイントを強くかけること、ディフェンス※1対1、2対2のディフェンスにおいて、出るタイミングをつかみ、出たらあとずさりするのではなく、その直線上、もしくは、前に向かっていくディフェンスをすること。・速攻の練習、速攻に出るのは、球が出ると同じぐらい集中すること。

〈感想〉自分たちも、同じような練習をしているのであるが、その1つ1つの練習の目的をしっかり把握して、少しでも工夫すると、すごく充実したものになると思った。また、フェイントをかけることの難しさを改めて痛感し、もっと柔軟性のあるフェイントをかけることが大切だと思う。この暑さに負けないような体力を身につけ少しでもこの合宿で多くのことを吸収出来たらいいと思う。

◇7月24日〈午後〉天候・快晴、場所・ハンドボールコート、チーム名・A_2（日本大学）、講師名・清水師、記入者・栗原　裕

〈教育内容〉・ゲーム（20分）—2勝—対山形大学、対横浜国立、福島大学　・キーパーとして注意されたこと・自分のチームが相手コートで攻撃しているとき、ゴールの中にはいずにフリースローの付近まで出てきていること。・速攻のボールは正確に投げる相手を呼んでとりやすい球を投げること。・サイドからのシュートは必ずとること。・声を出すこと。

〈感想〉自信を持ってプレーしなければ伸びないことを改めて知りました。練習が自信につながると思うので、まず練習をすることが一番必要だと思います。試合の時だけ自信を持とうというのが甘い考えだと感じました。

◇7月25日〈午前〉天候・晴れ、場所・多目的グラウンド、チーム名・香川大学・C_2、講師名・小山哲央先生、記入者・溝内哲也。

〈教育内容〉・ランニング（外周1周）ストレッチ（各自）コートの周りを利用してのアップ、3歩ダッシュ、足のきりかえし、バックラン。・ボールを用いての1対1、☆抜かす方向に足を向ける（ディフェンス）素早くきりかえす（オフェンス）・様々なパスの練習、☆いかなる状態でもパス出来るように、・2対1でボールを用いずにツメる練習、☆素早く方向づけをはっきりと、・1対1の攻防・サイドと45度の2対2の攻防4対6の攻防（素早く壁をつくる全員がバラバラにならないように。

〈感想〉昨日よりは楽だった。ディフェンスのコンビネーションで半身をつぶすことの重要性がわかった。「身長のないGKは絶対にシュートを誘う」ことを忘れずにやっていきたい。

◇7月25日〈午後〉天候・晴れ、場所・多目的グラウンド、チーム名・筑波大、講師名・飯田先生、記入者・岸本行生。



〈教育内容〉・速攻練習、GKからのワンマン、GKからのツーメン・パターン練習、フローターとポストの合わせ、サイドを含めての合わせ、(注)DF側の注意が引ける位置でボールをもらい、必ずGKの方向を見ること。・試合、対国際武道大5対11。

〈感想〉速攻は、ボールがすべるので、うまく球出しが出来なかったので、FPに悪いことをしてしまった。パターン練習で、ボールをもってシュートが打てるようにしながらGKを見ることに重点を置くように注意を受けたが、うちのチームはその点徹底していなかった様に思う。だから練習でも型にこだわる傾向があったし、試合でも相手のDFを引きつけていないところがあって、これからの課題だと思った。

◇7月26日〈午前〉天候・晴れ、場所・体育専門学群教育、チーム名・都留文科大学、記入者・中尾里香。

〈教育内容〉大西先生…シュートの話　全身をむちのように、サイドはジャンプ力が勝負。ロングはスピードが勝負。李先生…理論をもち、いろいろなチームから学びまねをする。河村先生…短い時間で質の高い練習をする。1つの種目の中に、いろいろな要素を含ませる。多くのことをやろうとせずに、1つの柱をつくってそこに枝葉をつけていく。岡本先生…世界選手権の話。試合が終ったら気持ちをきりかえる。ディフェンスは人でなくボールに向っていく。飯田先生…練習に対して積極性をもつ。

〈感想〉ビデオを見て、あのジャンプ力にびっくりした。踏み切らない方の足が大切だということがわかった。バックスイングを頭の後ろまでもっていくことが大事なんだと思った。練習時間が少ないので、河村先生の話は役に立ったトップレベルの話を聞くのもいいと思った。

◇7月26日〈午後〉天候・晴れ、場所・筑波大多目的グラウンド、チーム名・群馬大、講師名・小山哲央、記入者・石渡　進。

〈教育内容〉チーム練習、ディフェンス、オフェンス3人ずつで、ディフェンスをひきつけてシュートをねらって他の人に渡す。ディフェンスはオフェンスが前に出たらつめて次のオフェンスに渡ったらななめうしろにもどる。昨日やったセットのパターン練習。キーパー・キーパーの基礎トレ（足の筋トレ）キーパーのポジション・セオリー・キーパーの球出し、試合、都留文—群大・滋賀大　12—1

〈感想〉キーパー、大村先生の講義はまさに〃かゆいところに手がとどく〃という感じのもので、大いに収獲があった。今後の練習に生かしていきたい。

第7回東日本学生選手権

（8月20日～24日／東京・駒沢体育館他）

男子　日大が優勝

▼予選リーグ

○A組
福島大 25-13 北海学園大
日大 46-15 福島大
日大 47-10 北海学園大
[順位] ①日大②福島大③北海学

○B組
中大 28-18 埼玉大
東海大 23-17 北海道大
中大 23-16 東海大
北海道大 22-17 埼玉大
中大 24-13 北海道大
東海大 33-18 埼玉大
[順位] ①中大②東海大③北海道大④埼玉大

○C組
慶大 34-5 金沢工大
東北大 28-15 明大
慶大 29-17 東北大
明大 32-20 金沢工大
慶大 25-18 明大
東北大 29-12 金沢工大
[順位] ①慶大②東北大③明大④金沢工大

○D組
国士大 29-16 駒沢大
岩手大 25-11 専修大
国士大 30-14 専修大
岩手大 22-17 駒沢大
国士大 21-18 岩手大
駒沢大 24-17 専修大
[順位] ①国士大②岩手大③駒沢大④専修大

○E組
日体大 35-12 富山大
仙台大 20-16 東京学芸大
日体大 30-13 仙台大
東京学芸大 25-19 富山大
日体大 29-21 東京学芸大
仙台大 21-12 富山大
[順位] ①日体大②仙台大③東京学芸大④富山大

○F組
函館大 28-10 立大
法大 36-6 山形大
函館大 20-17 山形大
法大 35-15 立大
法大 19-19 函館大
立大 24-19 山形大
[順位] ①法大②函館大③立大④山形大

○G組
東北学院大 28-21 東京理科大
早大 30-7 東大
東北学院大 31-15 東大
早大 34-17 東京理科大
東北学院大 26-23 早大
東京理科大 21-20 東大
[順位] ①東北学院大②早大③東京理科大④東大

○H組
国武大 27-18 金沢大
筑波大 20-18 順天大
順天大 37-16 金沢大
筑波大 35-15 国武大
筑波大 24-14 金沢大
順天大 35-11 国武大
[順位] ①筑波大②順天大③国武大④金沢大

▼決勝トーナメント1回戦
日大 35（22-6, 13-13）19 法大
筑波大 34（17-13, 17-18）31 東北学院大
中大 23（12-10, 11-11）21 国士大
日体大 26（14-12, 12-8）20 慶大

▼7位決定戦
法大 35（17-18, 18-8）26 東北学院大

慶大 27（12-12, 15-7）19 国士大
国士大 36（16-13, 20-5）18 東北学院大

▼準決勝
日大 32（19-10, 13-11）21 筑波大
日体大 27（13-14, 14-12）26 中大

▼3位決定戦
中大 25（9-10, 16-14）24 筑波大

▼決勝
日大 39（19-12, 20-12）24 日体大



女子　日体大が優勝

▼予選リーグ

○A組
日女体大 17-15 東海大
筑波大 34-5 岩手大
筑波大 22-13 東海大
日女体大 30-15 岩手大
東海大 23-12 岩手大
筑波大 21-14 日女体大
[順位] ①筑波大②日女体大③東海大④岩手大

○B組
日体大 31-7 東京学芸大
東女体大 45-4 金沢大
東女体大 28-5 東京学芸大
日体大 46-2 金沢大
東京学芸大 22-3 金沢大
日体大 21-18 東女体大
[順位] ①日体大②東女体大③東京学芸大④金沢大

▼決勝トーナメント1回戦
筑波大 22（12-5, 10-7）12 東女体大
日体大 30（15-6, 15-8）14 日女体大

▼3位決定戦
東女体大 29（16-12, 13-8）20 日女体大

▼決勝
日体大 30（19-12, 11-13）25 筑波大

第24回（女子15回）西日本学生選手権

男子　大体大が優勝

▼予選リーグ

○A組
大阪体育大 24－7 広島大
大阪体育大 43－8 大分大
大阪体育大 36－11 大阪学院大
広島大 24－9 大分大
広島大 27－17 大阪学院大
大阪学院大 21－19 大分大
［順位］①大阪体育大②広島大③大阪学院大④大分大

○B組
福岡大 26－19 山口大
福岡大 38－14 愛知教育大
福岡大 26－22 京都教育大
山口大 29－14 愛知教育大
山口大 32－21 京都教育大
京都教育大 22－11 愛知教育大
［順位］①福岡大②山口大③京都教育大④愛知教育大

○C組
大阪経済大 26－18 福岡教育大
大阪経済大 30－16 愛知大
大阪経済大 20－15 関西大
関西大 26－16 福岡教育大
関西大 12－11 愛知大
福岡教育大 26－21 愛知大
［順位］①大阪経済大②関西大③福岡教育大④愛知大

○D組
同志社大 30－16 東和大
同志社大 31－13 愛知学院大
同志社大 30－12 松山商科大
松山商科大 24－21 愛知学院大
松山商科大 23－23 東和大
愛知学院大 26－22 東和大
［順位］①同志社大②松山商科大③愛知学院大④東和大

○E組
中京大 15－14 京都産業大
中京大 22－17 桃山学院大
中京大 24－8 関西学院大
京都産業大 21－8 桃山学院大
京都産業大 27－14 関西学院大
桃山学院大 24－22 関西学院大
［順位］①中京大②京都産業大③桃山学院大④関西学院大

○F組
近畿大 22－21 九州産業大
近畿大 24－20 愛媛大
近畿大 30－20 名古屋大
九州産業大 30－21 愛媛大
九州産業大 34－23 名古屋大
愛媛大 27－23 名古屋大
［順位］①近畿大②九州産業大③愛媛大④名古屋大

○G組
天理大 26－16 岡山大
天理大 25－19 神戸大
名城大 25－20 天理大
岡山大 16－15 名城大
岡山大 23－18 神戸大
神戸大 23－21 名城大
［順位］①天理大②岡山大③名城大④神戸大

○H組
中部大 27－21 大阪大
中部大 31－10 久留米工大
中部大 31－20 大阪教育大
久留米工大 19－17 大阪大
久留米工大 22－18 大阪教育大
大阪教育大 22－21 大阪大
［順位］①中部大②久留米工大③大阪教育大④大阪大



▼決勝トーナメント1回戦
大体大 34（18－8 16－9）17 福岡大
同大 32（16－11 16－9）20 大経大
中京大 25（9－6 16－9）15 近大
中部大 28（10－11 18－11）22 天理大

▼準決勝
大体大 18（10－8 8－9）17 同大
中部大 23（11－7 12－7）14 中京大

▼3位決定戦
同大 26（13－10 13－9）19 中京大

▼決勝
大体大 29（14－10 15－5）15 中部大

女子　武庫川女大が優勝

▼予選リーグ

○A組
武庫川女大 19－13 中京女大
武庫川女大 36－2 京都女大
武庫川女大 45－0 京都府大
中京女大 35－5 京都女大
中京女大 51－7 京都府大
京都女大 15－15 京都府大
［順位］①武庫川女大②中京女大③京都女大④京都府大

○B組
福岡大 26－10 大阪教育大
福岡大 39－12 岡山県短大
福岡大 27－7 京都教育大
大阪教育大 25－15 岡山県短大
大阪教育大 33－6 京都教育大
岡山県短大 26－9 京都教育大
［順位］①福岡大②大阪教育大③岡山県短大④京都教育大

○C組
山口大 12－10 中京大
中京大 12－10 天理大
天理大 12－11 山口大
［順位］①山口大②中京大③天理大

○D組
大阪体育大 34－5 福岡教育大
大阪体育大 27－8 愛知教育大
大阪体育大 45－4 仏教大
愛知教育大 20－19 福岡教育大
愛知教育大 30－4 仏教大
仏教大 30－9 福岡教育大
［順位］①大阪体育大②愛知教育大③仏教大④福岡教育大

▼決勝トーナメント1回戦
武庫川女大 16（8－6 8－9）15 福岡大
大体大 28（10－9 18－7）16 山口大

▼3位決定戦
福岡大 25（14－8 11－5）13 山口大

▼決勝
武庫川女大 28（14－3 14－6）9 大体大

―85年度日韓ジュニア交流競技会―

韓国が4戦全勝

85年度日韓ジュニア交流競技会は、福岡市で8月20日に開会式、そして21日、23日の2日間に8種目にわたって競技会を行なった。ハンドボールは、男子は永東高校、女子は扶安女子高が来日して、男女の福岡選抜、中京高、小松市女高を相手に計4試合を行なったが、共に日本チームを圧倒、韓国チームの4戦全勝で終わった。

〈8月21日〉

〈男子〉

永東高 27（14－11、13－11）22 中京高

○…平均身長、永東178・2cm、中京177・6cmと大差のないチームの対戦であるが、永東3フローターの型からの2ポストへの移行、中京は一線からの出による守り。スタートすぐ永東8番沈の10mぐらいのロングで連続得点、中京は2・4の型に近い出に変わるが、サイド攻撃で失点。一方中京は、永東の早いつめにより思うように攻撃が出来ず、それでも10分には3－4に追い上げる。しかし永東は広い45度の早い動きとラテラルパスとの併用による速いパスで中京ディフェンスを崩し、サイドよりの45度からのロングシュートを遠目コーナーにコントロール、14－11とリードして前半を終了。

後半、中京もエリア内へのとび込みと速攻による得点を重ねるが、永東は早いふりからのセミロング、センタースカイ、サイドシュートと多彩な攻撃により確実に得点、5点差をつけて勝利を握った。

得	〔永東〕		〔中京〕	得
0	李鎬必	GK	西井	0
		GK	奥野	0
2	金泰鎬	FP	大橋	5
8	趙成烈	FP	安井	2
6	金尹喆	FP	三輪	2
0	李学勉	FP	鹿嶌	4
0	李在玉	FP	堀田	5
4	沈載弘	FP	大澤	3
5	呉世日	FP	平松	1
2	洪光杓	FP	氷谷	0
0	李政桓	FP	福田	0
0	尹昶龍	FP	佐藤	0
27	(0)	PT	(2)	22

（審・中本 福田）

〈女子〉

扶安女高 17（10－9、7－7）16 小松市女高

○…練習の時見せた扶安のスピードのあるポジション移動と正確なラテラルパスによるずらしは、日本の女子チームでは考えられないほど速く、正確である。

小松市女・林がロングを決めて先制。両チームともシュートが雑で10分で4－2と小松市女がリード。扶安女のディフェンスは荒く警告、退場と続くが、扶安女・朴が早い動きとパスで小さなずらしからセミロングを放ち逆転、10－9と扶安女のリードで前半を終了。

後半も扶安女の退場を出しながらの守りに対し、小松市女もチャンピオンチームらしくサイド、ポスト、速攻と攻め、残り8分15－15に並ぶ。続いて野田のゴールで16－15と逆転するが、扶安女も早いふりから朴のセミロング、張のロングで2点連取、17－16と再逆転。小松市女懸命に1点を追うが5分間得点なく、扶安女が逃げ切る。

得	〔扶安〕		〔小松〕	得
0	宋美愛	GK	川北	0
0	金美羅	GK	木戸	0
0	崔應京	FP	野田	4
0	蘇銀淑	FP	木村	4
3	金美正	FP	林	7
1	呉順子	FP	松田	0
9	朴炫淑	FP	上田	0
1	梁銀淑	FP	桜井	0
0	金其子	FP	池田	0
0	金美昊	FP	奥村	1
3	張美京	FP	千秋	0
0	朴鎮任	FP	山本	0
17	(0)	PT	(3)	16

（審・森山 田原）

〈8月23日〉

〈男子〉

永東高 25（14－10、11－10）20 福岡選抜

○…立ち上がり、福岡選抜が長身を生かして好シュートを打つが永東GK李の好守にあい得点出来ない。一方、永東は早い振りからのダブルポストでサイドを固めて守る福岡選抜の真中をセミロング、ポストシュートと攻めて5分で3－0。中盤になってやっと福岡選抜はサイド、ポスト、45度と動きの中から得点するが、前半は14－10と永東リード。後半も永東は速いパスにより45度ディフェンスを振りロング、ポスト、スカイと確実に得点、福岡選抜は点差をつめることが出来なかった。

体育館でしか練習しない韓国チームの広いスタンツから生まれる早い位置どり、スタート、ストップに対し、アウトで滑ることを前提にして練習して来た福岡選抜のスピードの違いと選手個々のパワーの違いを感じた。

得	〔永東〕		〔福岡〕	得
0	李鎬必	GK	井上	0
		GK	橋本	0
3	金泰鎬	FP	田中	2
2	趙成烈	FP	小池	0
7	金尹喆	FP	松尾	2
0	李学勉	FP	光安	2
0	李在玉	FP	清水	4
8	沈載弘	FP	大中	5
3	呉世日	FP	竹内	5
2	洪光杓	FP	笠	0
0	李政桓	FP	倉田	0
0	尹昶龍	FP	山口	0
25	(2)	PT	(1)	20

（審・福田 赤池）

〈女子〉

扶安女高 26（10－3、16－10）13 福岡選抜

○…福岡選抜は扶安女高の早いディフェンスのつめとポジションどりのためシュートチャンスなく、ストーリング気味のオフェンスでゲームが進む。一方、朴を中心とした速い動きと広いポジションからの攻撃の扶安女高は、つめの小さい福岡選抜のディフェンスの外からセミロングでポイントを重ねながらポスト、サイドと攻め、前半を10－3で終了。後半やっと慣れて来た福岡選抜・横瀬、藤がディフェンス・ラインを走り抜けるシュートで得点を加えるが、扶安女高も左腕・張の遠目コーナーにコントロールされるロングシュートと早い動きの朴、金のコンビにより得点、点差は開くばかり。

韓国選手団・金団長評「なぜフリースローラインの外からシュートしないのか。ディフェンスにつめて打ったらはいらない」でもわかる通り、パワーとスピードに格段の差を見たゲームであった。

得	〔扶安〕		〔福岡〕	得
0	宋美愛	GK	肥川	0
0	金美羅	GK	木村	0
4	崔應京	FP	岩崎	0
0	蘇銀淑	FP	高原	0
6	金美正	FP	小田	4
0	呉順子	FP	吉岡	0
10	朴炫淑	FP	長谷川	0
0	梁銀淑	FP	横瀬	4
0	金其子	FP	藤	5
0	金美昊	FP	渡辺	0
6	張美京	FP	若松	0
		FP	青柳	0
26	(2)	PT	(3)	13

（審・森山 田原）

各地の記録から・・・

愛知県高校選手権

◎名北支部予選（6月23、30／緑丘商、愛知商、春日井高）

〈男子〉

▼1回戦
旭野 22－9 名学院
長久手 21－14 東邦
名古屋西 20－15 愛知工
瀬戸西 没収 春日丘
市工芸 15－8 東山工
春日井工 17－8 明和

▼2回戦
千種 20－8 旭野
長久手 19－14 山田
菊里 22－7 名東
北 16－14 名古屋西
瀬戸西 14－10 高蔵寺
東海 30－14 栄徳
春日井 23－12 市工芸
瀬戸 26－9 春日井工

▼3回戦
千種 20－9 長久手
菊里 16－6 北
東海 17－14 瀬戸西
瀬戸 20－18 春日井

▼準決勝
千種 17－9 菊里
東海 21－14 瀬戸

※東海、千種と県高校総体出場の愛知、春日井東、旭丘、守山が県大会へ。

〈女子〉

▼1回戦
長久手 11－4 名東

▼2回戦
愛知商 31－3 長久手
春日井東 12－7 名古屋商
瀬戸 14－12 春日井
西陵商 18－12 旭野
瀬戸西 18－4 山田
聖霊 27－11 北
千種 14－9 高蔵寺
緑丘商 30－4 名古屋西

▼3回戦
愛知商 33－7 春日井東
西陵商 20－14 瀬戸
瀬戸西 18－8 聖霊
緑丘商 32－6 千種

▼準決勝
愛知商 19－10 西陵商
緑丘商 34－3 瀬戸西

※愛知商、緑丘商と県高校総体出場の市邨、中京女、菊里、淑徳が県大会へ。

◎名南支部予選（7月14、21日／桜台、名南工高）

〈男子〉

▼1回戦
鳴海 12－12 昭和
3 PTC 2
日進西 14－8 豊明
瑞陵 23－6 名商大付
中村 28－13 東郷
名古屋南 12－12 名市工
2 PTC 1
名大谷 14－9 松蔭

▼2回戦
向陽 16－3 鳴海
日進西 20－10 日進
富田 11－10 享栄
瑞陵 27－7 星城
中村 15－5 名城大付
名古屋南 12－7 南陽
天白 14－10 惟信
熱田 18－14 名大谷

▼3回戦
日進西 13－11 向陽
瑞陵 24－5 富田
中村 14－12 名古屋西
天白 18－11 熱田

▼準決勝
瑞陵 17－12 日進西
中村 24－13 天白

▼3位決定戦
日進西 15－14 天白

▼決勝
瑞陵 21－16 中村

※瑞陵、中村、日進西と県高校総体出場の桜台、名南工、緑が県大会へ。

〈女子〉

▼1回戦
向陽 11－7 日進西
南陽 13－12 東郷
若宮商 9－3 天白
惟信 11－1 松蔭

▼2回戦
向陽 20－3 高蔵
熱田 17－6 鳴海
南陽 11－10 星城
中川商 19－2 豊明
若宮商 12－6 緑
東海女 15－2 中村
惟信 16－3 名女大

▼3回戦
向陽 16－8 熱田
中川商 21－5 南陽
若宮商 12－8 東海女
惟信 19－4 名古屋南

▼準決勝
向陽 21－13 中川商
若宮商 16－13 惟信

▼3位決定戦
中川商 18－11 惟信

▼決勝
向陽 23－9 若宮商

※向陽、若宮商、中川商と県高校総体出場の桜台、昭和、瑞陵が県大会へ。

◎尾張支部予選（7月21～23日／一宮、尾北高）

〈男子〉

▼1回戦
稲沢 12－11 岩倉
美和 12－11 津島
小牧工 14－9 五条
起工 14－13 丹羽
尾西 20－2 津島東
一宮工 18－7 西春
江南 21－8 尾関学園
佐織工 15－12 一宮南
一宮北 20－11 稲沢東
平和 17－13 一宮興道
小牧南 16－6 木曽川
尾北 不戦勝 犬山

▼2回戦
一宮 29－6 稲沢
小牧工 12－4 美和
尾西 14－13 起工
一宮西 14－4 一宮工
蟹江 11－10 江南
一宮北 17－14 佐織工
小牧南 18－15 平和
犬山南 28－11 尾北

▼3回戦
一宮 22－8 小牧工
一宮西 19－5 尾西
一宮北 20－5 蟹江
犬山南 23－8 小牧南

▼5、6位決定戦
小牧工 25－15 尾西
蟹江 12－8 小牧南

▼準決勝
一宮 14－13 一宮西
犬山南 25－14 一宮北

▼3位決定戦
一宮西 21－13 一宮北

▼決勝
一宮 18－16 犬山南

※一宮、犬山南、一宮商、一宮北、小牧工、蟹江が県大会へ。

〈女子〉

▼1回戦
津島女 12－6 犬山
一宮興道 19－6 一宮北
一宮女 19－2 一宮南
江南 14－4 稲沢東
津島 25－6 津島東
平和 10－9 一宮西
一宮 23－7 小牧南
古知南 19－7 美和

▼2回戦
佐屋 29－6 津島女
犬山南 12－8 一宮興道
一宮女 19－7 一宮商
江南 9－8 尾北
西春 14－4 津島
平和 11－3 岩倉
一宮 12－9 蟹江
尾西 27－5 古知野

▼3回戦
佐屋 12－9 犬山南
一宮女 10－5 江南
西春 10－9 平和
尾西 14－10 一宮

▼5、6位決定戦
犬山南 21－8 江南
一宮 15－8 平和

▼準決勝
佐屋 10－6 一宮女
尾西 11－8 西春

▼3位決定戦

西春 15－9 一宮女

▼決勝

佐屋 19－12 尾西

※佐屋、尾西、西春、一宮女、一宮、犬山南が県大会へ。

◎知多支部予選

（7月21日～23日／常滑北、半田東高）

〈男子〉

▼予選リーグ

○Aブロック

半田 17－12 常滑北
半田 18－10 半田工
半田 19－9 知多東
常滑北 18－15 半田工
常滑北 12－12 知多東
半田工 18－15 知多東

○Bブロック

半田東 13－8 東海南
半田東 18－10 東浦
半田東 16－6 大府
半田東 22－10 半田農
東海南 14－12 東浦
東海南 13－13 大府
東海南 24－5 半田農
大府 17－12 東浦
大府 32－12 半田農
東浦 20－12 半田農

○Cブロック

横須賀 8－7 知多
横須賀 10－6 武豊
横須賀 16－10 大府東
横須賀 33－6 阿久北
知多 11－9 武豊
知多 11－10 阿久北
知多 32－8 大府東
武豊 12－9 阿久北
武豊 44－2 大府東
大府東 31－1 阿久北

▼4～6位決定リーグ

知多 14－8 東海南
知多 14－8 常滑北
東海南 13－11 常滑北

▼1～3位決定リーグ

横須賀 11－10 半田東
横須賀 14－13 半田
半田東 12－8 半田

※横須賀、半田東、半田、知多が県大会へ。

〈女子〉

▼予選リーグ

○Aブロック

武豊 21－5 大府
武豊 21－5 大府東
武豊 17－0 阿久北
武豊 不戦勝 半田農
大府 16－9 大府東
大府 14－10 阿久北
大府 不戦勝 半田農
阿久北 8－5 大府東
阿久北 不戦勝 半田農
大府東 不戦勝 半田農

○Bブロック

半田商 38－1 東海南
半田商 22－4 内海
半田商 36－2 知多東
半田商 15－12 半田
半田 27－2 東海南
半田 19－6 内海
半田 27－0 知多東
内海 22－0 知多東
内海 19－3 東海南
東海南 5－4 知多東

○Cブロック

半田東 21－2 常滑北
半田東 9－8 東海商
半田東 40－3 知多
半田東 14－6 桃陵
東海商 20－9 常滑北
東海商 35－3 知多
東海商 17－9 桃陵
桃陵 9－6 常滑北
桃陵 36－4 知多
知多 26－2 常滑北

▼4～6位決定リーグ

半田 20－1 大府
半田 11－6 東海商
東海商 19－6 大府

▼1～3位決定リーグ

半田商 14－5 武豊
半田商 11－8 半田東
武豊 10－6 半田東

※半田商、武豊、半田東、半田が県大会へ。

◎西三河支部予選

（7月25～27日／知立商）

〈男子〉

▼1回戦

碧南 19－12 衣台
岡崎西 19－16 知立
西尾東 22－12 愛教大附
豊田工 21－11 幸田
安城南 25－9 吉良
高浜 21－15 安城
刈谷 24－13 刈谷工
岡崎工 27－4 一色
刈谷北 20－11 安城東
西尾 20－7 碧南工
三河 16－8 三好

▼2回戦

岡崎城西 27－5 碧南
西尾東 13－11 岡崎西
岡崎北 23－4 豊田工
豊田南 13－6 安城南
岡崎東 23－2 高浜
刈谷 17－12 岡崎工
刈谷北 20－12 西尾
三河 13－12 岡崎

▼3回戦

岡崎城西 30－9 西尾東
岡崎北 18－11 豊田南
岡崎東 22－6 刈谷
刈谷 23－9 三河

▼5～8位決定戦

豊田南 13－5 西尾東
刈谷 23－10 三河
西尾東 12－8 三河
豊田南 19－17 刈谷

▼準決勝

岡崎城西 21－15 岡崎北
刈谷北 21－16 岡崎東

▼3位決定戦

岡崎東 19－15 岡崎北

▼決勝

岡崎城西 28－15 刈谷北

※岡崎城西、刈谷北、岡崎東、岡崎北、豊田南、岩津が県大会へ。

〈女子〉

碧南 15－9 高浜
豊田南 17－4 刈谷
岡崎商 9－8 西尾東
吉良 18－2 岡崎西
西尾 17－6 安城南
刈谷北 18－8 知立
岡崎 31－1 愛教大附
岩津 15－6 豊田
安城東 11－10 岡崎北
衣台 27－4 豊田東

▼2回戦

安城学園 35－3 碧南
豊田南 21－6 岡崎商
岡崎東 14－13 吉良
西尾 15－11 安城
幸田 19－11 刈谷北
岡崎 14－10 一色
岩津 19－7 安城東
三好 27－4 衣台

▼3回戦

安城学園 19－6 豊田南
岡崎東 13－9 西尾
岡崎 20－6 幸田
三好 17－4 岩津

▼5～8位決定戦

豊田南 19－10 西尾

豊田南 20－9 岩津
西尾 15－14 幸田
岩津 12－11 幸田

▼準決勝
安城学園 21－2 岡崎東
三好 8－5 岡崎

▼3位決定戦
岡崎 15－6 岡崎東

▼決勝
安城学園 25－10 三好

※安城学園、三好、岡崎、岡崎東、豊田南、岩津が県大会へ。

◎東三河支部予選（7月25日～27日／豊橋南高）

〈男子〉

▼予選リーグ

○Aブロック
豊川工 22－14 時習館
豊川工 19－13 蒲郡
豊川工 14－14 国府
時習館 23－13 蒲郡
時習館 19－16 国府
国府 13－12 蒲郡

○Bブロック
桜丘 9－8 豊橋工
桜丘 20－16 三谷水
桜丘 12－5 新城東
三谷水 13－12 豊橋工
三谷水 16－5 新城東
豊橋工 26－4 新城東

○Cブロック
蒲郡東 23－6 豊橋東
蒲郡東 18－15 豊丘
蒲郡東 29－10 新城
豊橋東 14－13 豊丘
豊橋東 22－9 新城
豊丘 20－8 新城

○Dブロック
豊橋西 19－6 豊橋南
豊橋商 19－15 豊橋西
豊橋南 13－13 豊橋商

▼決勝トーナメント1回戦
豊川工 19－12 豊橋西
桜丘 15－11 豊橋東
蒲郡東 14－8 三谷水産
時習館 20－19 豊橋商

▼5、6位決定戦
豊橋西 19－7 豊橋東
三谷水産 12－11 豊橋商
豊橋西 15－14 三谷水産

▼準決勝
桜丘 12－9 豊川工
蒲郡東 20－16 時習館

▼3位決定戦
時習館 14－12 豊川工

▼決勝
蒲郡東 17－16 桜丘

※蒲郡東、桜丘、時習館、豊川工が県大会へ。

〈女子〉

▼予選リーグ

○Eブロック
蒲郡東 35－1 新城
蒲郡東 6－5 時習館
時習館 23－1 新城

○Fブロック
蒲郡 18－8 新城東
蒲郡 15－10 宝陵
新城東 12－11 宝陵

○Gブロック
豊橋南 17－2 国府
豊橋南 12－10 豊橋商
国府 9－9 豊橋商

○Hブロック
豊橋西 21－11 豊丘
豊橋西 24－4 豊橋東
豊丘 14－8 豊橋東

▼決勝トーナメント1回戦
蒲郡東 16－11 豊丘
蒲郡 18－7 豊橋商
豊橋南 13－7 新城東
豊橋西 23－2 時習館

▼5、6位決定戦
豊丘 16－12 豊橋商
時習館 15－9 新城東
豊丘 12－7 時習館

▼準決勝
蒲郡東 9－6 蒲郡
豊橋西 20－6 豊橋南

▼3位決定戦
豊橋南 8－4 蒲郡

▼決勝
豊橋西 21－6 蒲郡東

※豊橋西、蒲郡東、豊橋南、蒲郡が県大会へ。

◎県大会（8月1～3日／国府高）

〈男子〉

▼1回戦
桜台 25－17 東海
豊田南 23－9 蟹江
一宮西 18－9 半田東
岡崎北 21－16 蒲郡東
岡崎城西 25－16 瑞陵
千種 23－14 時習館
守山 16－7 知多
名南工 19－14 小牧工
春日井東 24－20 半田
刈谷北 20－17 日進西
旭丘 24－13 中村
横須賀 17－17 一宮北（PTC 2－1）
一宮 29－16 桜丘
緑 23－7 刈谷
犬山南 22－11 岡崎東
愛知 24－9 豊川工

▼2回戦
桜台 40－17 豊田南
一宮西 17－9 岡崎北
岡崎城西 27－15 千種
名南工 24－14 守山
春日井東 23－21 刈谷北
旭丘 22－7 横須賀
一宮 26－18 緑
愛知 26－12 犬山南

▼3回戦
桜台 30－17 一宮西
岡崎城西 21－16 名南工
旭丘 19－12 春日井東
愛知 18－9 一宮

▼準決勝
桜台 22－20 岡崎城西
愛知 21－10 旭丘

▼決勝
桜台 23（15－11、8－11）22 愛知

※桜台は19年ぶり10回目の優勝。

〈女子〉

▼1回戦
桜台 13－8 一宮女
岩津 21－11 蒲郡東
愛知商 21－16 半田東
三好 30－6 西春
半田商 31－11 昭和
尾西 18－15 豊橋西
岡崎 17－2 瑞陵
中京女 36－5 蒲郡
安城学園 24－7 犬山南
半田 16－9 豊橋南
緑丘商 18－4 豊田南
中川商 14－14 菊里（PTC 2－1）
佐屋 24－11 淑徳
武豊 20－3 若宮商
向陽 24－7 岡崎東
市邨 23－10 一宮

▼2回戦
桜台 18－13 岩津
愛知商 15－10 三好
半田商 21－8 尾西
中京女 21－6 岡崎
安城学園 25－7 半田
緑丘商 30－6 中川商
佐屋 21－19 武豊

市郁 15－7 向陽

▼3回戦

桜台 23－8 愛知商

中京女 31－18 半田商

安城学園 19－18 緑丘商

市郁 21－10 佐屋

▼準決勝

中京女 22－11 桜台

市郁 21－12 安城学園

▼決勝

中京女 21（10－4、11－3）7 市郁

※中京女は初優勝。

第38回東北高校選手権

（7月5〜7日／湯沢高校体育館、湯沢雄勝広域圏総合体育館）

〈男子〉

▼1回戦

仙台育英（宮城）30－10 新庄工（山形）

湯沢（秋田）23－16 野辺地（青森）

盛岡四（岩手）23－18 安積（福島）

大曲農（秋田）22－20 真室川（山形）

▼2回戦

学法石川（福島）29－13 仙台育英

湯沢 19－9 花巻北（岩手）

青森商（青森）27－12 盛岡四

古川工（宮城）31－24 大曲農

▼準決勝

学法石川 18－13 湯沢

青森商 32－18 古川工

▼決勝

青森商 24（14－9、10－10）19 学法石川

〈女子〉

▼1回戦

青森商（青森）25－13 米沢女（山形）

郡山女（福島）26－11 聖和学園高（宮城）

花巻北（岩手）20－18 日大山形（山形）

安積女（福島）22－20 秋田和洋（秋田）

▼2回戦

大曲農（秋田）32－16 青森商

郡山女 20－18 盛岡二（岩手）

涌谷（宮城）19－19 2PTC1 花巻北

青森西（青森）20－20 3PTC2 安積女

▼準決勝

大曲農 18－15 郡山女

青森西 16－15 涌谷

▼決勝

大曲農 21（13－7、8－9）16 青森西

国体成年の部青森県一次予選会

（7月6日、7日／七戸町立体育館）

〈成年男子〉

▼1回戦

青森ク 27－19 弘前ク

▼2回戦

七戸ユニオン 24－19 青森ク

青商ク 41－29 青森陸自

海自二空 キケン 尾上ク

野辺地ク 23－22 青森教員

▼準決勝

青商ク 33－25 七戸ユニオン

野辺地ク 30－17 海自二空

▼3位決定戦

七戸ユニオン 34－9 海自二空

※青商ク、野辺地ク、七戸ユニオンの3チームで二次予選で決勝リーグを行なう。

〈成年女子〉

▼リーグ戦

野辺地ク 19－17 あすなろク

野辺地ク 19－12 青商ク

野辺地ク 30－9 七戸CATS

野辺地ク 17－17 青森ク

あすなろク 19－10 青商ク

あすなろク 31－10 七戸CATS

あすなろク 26－12 青森ク

青商ク 31－11 七戸CATS

青商ク 15－12 青森ク

青森ク 25－9 七戸CATS

[順位] ①野辺地ク②あすなろク③青商ク④青森ク⑤七戸CATS

国体成年の部青森県二次予選会

（7月14日／野辺地町立体育館）

〈成年男子〉

▼決勝リーグ

野辺地ク 28－19 七戸ユニオン

青商ク 44－26 七戸ユニオン

野辺地ク 24－23 青商ク

[順位] ①野辺地ク②青商ク③七戸ユニオン

〈成年女子〉

青商ク 18－13 七戸CATS

あすなろク 26－12 青森ク

千葉県民体育大会第二部

◎成年の部

（7月6、7日／松戸秋山高）

〈男子〉

▼1回戦

若潮ナッツ 32－27 小金ク

コスモ石油 32－22 若潮ク

▼準決勝

千葉教員 12－0 コスモ石油

若潮ナッツ 22－22 海上自衛隊下総

▼決勝

千葉教員 24（10－5、14－13）18 若潮ナッツ

〈女子〉

千葉クラブのみ参加、優勝。

◎少年の部

（7月22、23日／昭和学院高他）

〈男子〉

▼1回戦

幕張北 24－20 我孫子

▼2回戦

佐原 27－2 市立松戸

流山中央 21－20 松戸六実

船橋旭 14－11 千葉明徳

東京学館浦安 24－17 二松学舎沼南

松戸秋山 20－4 木更津

市原 21－20 東京学館

千葉選抜B 18－11 柏南

千葉選抜A 25－11 幕張北

▼3回戦

千葉選抜A 25－9 佐原

流山中央 16－14 船橋旭

東京学館浦安 24－11 松戸秋山

千葉選抜B 19－9 市原

▼準決勝

千葉選抜A 46－9 流山中央

千葉選抜B 20－16 東京学館浦安

▼決勝

千葉選抜A 31（14－7、17－5）12 千葉選抜B

〈女子〉

▼1回戦

和洋女大付国府台 15－7 流山中央

▼2回戦

東邦大付東邦 17－13 佐原女

佐原 12－8 柏南
千葉選抜B 50－1 千葉明徳
千葉選抜A 24－4 和洋女大付国府台
▼準決勝
千葉選抜A 20－10 東邦大付東邦
千葉選抜B 35－8 佐原
▼決勝
千葉選抜A 17（9－7、8－6）13 千葉選抜B

国体少年の部青森県選手選考会

（7月20、21日／青森商高）

〈少年男子〉
▼1回戦
青森南B 23－16 青森東A
野辺地A 36－5 青森山田
三本木 18－15 青森
野辺地B 23－19 青森東B
青森商 20－5 五所川原
柏木農 13－12 十和田工
▼2回戦
青森南B 23－19 今別
野辺地A 18－15 三本木
野辺地B 15－11 青森商
柏木農 17－14 青森南A
▼3回戦
野辺地A 33－9 青森南B
柏木農 27－19 野辺地B
▼決勝リーグ
野辺地A 32－8 柏木農
全青森 32－11 柏木農
全青森 23－14 野辺地A
［順位］①全青森②野辺地A③柏木農

〈少年女子〉
▼1回戦
野辺地B 35－7 青森中央
三本木 21－8 青森東
青森商 16－14 野辺地A
▼2回戦
野辺地B 21－16 青森西
青森商 27－12 三本木
▼決勝リーグ
野辺地B 16－7 青森商
全青森 19－9 青森商
全青森 16－14 野辺地B
［順位］①全青森②野辺地B③青森商

第11回鳥取県中学総体

（7月21日／境港二中）

〈男子〉
▼1回戦
境三 17－8 境二
▼決勝
境一 13（6－3、7－6）9 境三

〈女子〉
▼1回戦
境一 9－5 境二
▼決勝
境三 9（6－3、3－5）8 境一

第37回岩手県民体育大会

（7月20～22日／岩手大）

〈成年男子〉
▼1回戦
岩手大 39－21 志高ク
盛岡商友会 12－0 日立水沢
岩手教員ク 47－16 いわいク
岩手フェザント 44－22 岩手自衛隊
花巻送球会 26－18 岩手スポーツク
岩手医科大 26－25 鵬ク
▼2回戦
花巻ク 32－21 岩手大
盛岡商友会 25－18 岩手教員ク
岩手フェザント 31－22 花巻送球会
白罡ク 51－16 岩手医科大
▼準決勝
花巻ク 28－26 盛岡商友会
白罡ク 31－24 岩手フェザント
▼決勝
花巻ク 29（13－14、16－9）23 白罡ク

〈成年女子〉
▼1回戦
岩手大 24－7 花巻ク
▼準決勝
岩手桐花ク 21－10 岩手大ギャロップ
白梅三英芙会 12－9 レディースク
▼決勝
岩手桐花ク 17（7－10、10－6）16 白梅三英芙会

〈少年男子〉
▼1回戦
久慈高 27－14 水沢高
岩手高 25－12 一関一高
▼2回戦
花巻北高 35－7 久慈高
生活学園高 42－17 福岡工高
盛岡一高 45－5 一関工高
宮古高 20－14 盛岡南高
大迫高 21－12 福岡高
盛岡商高 28－14 一戸高
釜石南高 22－16 花巻農高
盛岡四高 37－11 岩手高
▼3回戦
花巻北高 32－15 生活学園高
盛岡一高 29－6 宮古高
大迫高 28－22 盛岡商高
盛岡四高 23－17 釜石南高
▼準決勝
花巻北高 21－20 盛岡一高
盛岡四高 24－12 大迫高
▼決勝
花巻北高 22（11－7、11－13）20 盛岡四高

〈少年女子〉
▼1回戦
久慈山形分校 11－8 水沢高
大原商高 15－1 向中野学園高
▼2回戦
盛岡一高 24－2 久慈山形分校
盛岡三高 11－2 花巻農高
盛岡南高 18－6 宮古高
花巻南高 19－6 岩手女高
釜石南高 18－6 平舘高
黒沢尻南高 14－6 白百合学園高
釜石商高 8－7 岩泉田野畑分校
花巻北高 13－4 大原商高
▼3回戦
盛岡二高 21－3 盛岡三高
花巻南高 19－8 盛岡南高
釜石南高 19－2 黒沢尻南高
花巻北高 17－2 釜石商高
▼準決勝
盛岡二高 20－13 花巻南高
釜石南高 17－10 花巻北高
▼決勝
盛岡二高 15（7－3、8－4）7 釜石南高

第25回香川県中学総体

（7月25、26日／光洋中）

〈男子〉
▼1回戦
香川一 23－8 光洋
古高松 16－11 香川東
紫雲 9－5 桜町
山田 29－6 勝賀
▼準決勝
香川一 19－10 古高松
山田 13－11 紫雲
▼決勝
香川一 17－13 山田

〈女子〉
▼1回戦
玉藻 18－7 太田
光洋 15－4 桜町
▼2回戦
玉藻 10－5 紫雲
香川東 15－8 古高松
山田 12－11 塩江
香川一 9－5 光洋
▼準決勝
香川東 9－7 玉藻
山田 15－9 香川一
▼決勝
山田 14－6 香川一

第38回三重県中学校体育大会

（7月29、30日／亀山中）

〈男子〉
▼1回戦
鳥羽東 13－9 千代崎
菰野 18－12 富田
▼2回戦
西笹川 46－3 鳥羽東
明和 19－13 白子
亀山 24－7 東員第二
西朝明 15－11 菰野
▼準決勝
西笹川 17－6 明和
亀山 15－8 西朝明
▼決勝
西笹川 22－10 亀山

〈女子〉
▼1回戦
羽津 12－4 大安
菰野 20－5 北
西朝明 32－4 三雲
朝明 26－3 阿山
▼2回戦
西笹川 16－0 羽津
菰野 11－5 亀山
西朝明 10－5 桔梗ヶ丘
朝明 20－7 東員第二
▼準決勝
西笹川 7－7（PTC2－1）菰野
朝明 8－6 西朝明
▼決勝
西笹川 11－2 朝明

告知板

世界選手権アジア予選
日本男子代表

〈役員〉
監督代理　渡辺慶寿（日本協会強化部長）
コーチ　津川　昭（日本協会強化委員）
〃　佐藤要二（日本協会強化委員）
〈選手〉
GK　1　井藤英忠（26歳・湧永製薬）
12　大畑孝広（28歳・本田技研鈴鹿）
16　矢内　浩（25歳・大崎電気工業）
FP　2　西山　清（26歳・日新製鋼）
3　藤井　泉（26歳・日新製鋼）
4　志賀良弘（29歳・湧永製薬）
5　奥田新治（26歳・湧永製薬）
6　朝生和光（23歳・山梨県職員）
7　立木浩二（25歳・本田技研鈴鹿）
8　玉村健次（24歳・湧永製薬）
9　内藤裕治（23歳・本田技研鈴鹿）
10　田口　隆（24歳・本田技研鈴鹿）
11　荷川取義浩（23歳・湧永製薬）
13　酒巻清治（23歳・湧永製薬）
14　首藤信一（20歳・大崎電気工業）
15　山本興道（25歳・大崎電気工業）

1級スポーツトレーナーから
コーチへの移行承認者

日本ハンドボール協会より書類審査の上一級スポーツトレーナーからコーチへの移行を上申していた以下の34名が、日本体育協会より承認されましたのでここにご紹介します。

〈岩手県〉太田利彦（岩手大）
〈秋田県〉豊島慶男（秋田工業高専）
〈宮城県〉福島富造（PL学園女子短大）
〈山形県〉保坂　浩（大石田高）
〈群馬県〉武内貞夫（光電デバイス）
〈埼玉県〉高橋健夫（筑波大附属坂戸高）
〈東京都〉佐野和夫（五日市高）、高田日呂美（東京都教育委員会）
〈神奈川県〉松本正昭（南太田小）、三浦　公（関東学院高）
〈山梨県〉斉藤　実（吉田高）、千野恒夫（甲府一高）
〈静岡県〉吉田定静（沼津東高）、片瀬喜代次（清水市総合運動場管理事務所）、鈴木　城（田方農高）
〈富山県〉藤木孝司（富山市教育委員会）
〈石川県〉若山　博（金沢美術工芸大）、村井輝邦（金沢商高）
〈岐阜県〉石野　誠（桑原小）
〈三重県〉安藝嘉幸（明野航空学校）、中根武彦（津東高）
〈滋賀県〉田村耕造（大津商高）
〈京都府〉徳田良昭（京都市建設局南部土木事務所）
〈大阪府〉山中善之祐（市岡東中）
〈和歌山県〉川口　譲（県体力開発センター）
〈広島県〉片岡賢二（山陽女高）
〈山口県〉来栖重成（阿知須中）、藤田信義（山口大）
〈福岡県〉福田英明（福岡歯科大）
〈長崎県〉林　信義（有馬商高）、今村豊嗣（玉之浦中）
〈熊本県〉島田秀四（九州女学院高）
〈鹿児島県〉蒲山尚志（国分実高）、岡山明弘（鹿児島南高）

[訂　正]
7月号でお伝えしました熊本県の理事長が誤っておりましたので訂正させていただきます。

藤田八郎　→　森　豊夫

第10回日本リーグ後期日程

（1部）

開催日	開催地	試合開始時間　男子　組合せ	試合開始時間　女子　組合せ
第1週第1日 11月2日(土)	岩手県営体育館	17：30 日新製鋼×大崎電気	16：00 大崎電気×ジャスコ
	宮城県スポーツセンター		15：50 日立栃木×日本ビクター
第1週第2日 11月3日(日)	福島体育館		12：20 大崎電気×日本ビクター
第1週第3日 11月4日(月)	広島サンプラザ	14：30 湧永製薬×本田技研鈴鹿	13：00 立石電機×大和銀行
第2週第1日 11月9日(土)	神戸市立中央体育館	16：30 湧永製薬×日新製鋼	15：00 大和銀行×ジャスコ
第2週第2日 11月10日(日)	岐阜県民体育館		14：45 立石電機×ジャスコ
	東根市民体育館	15：00 本田技研鈴鹿×大崎電気	13：30 大崎電気×日立栃木
第2週第3日 11月11日(月)	大阪中央体育館	17：00 湧永製薬×三陽商会	18：20 大和銀行×日本ビクター
第3週第1日 11月16日(土)	水海道二高体育館	14：00 日新製鋼×三陽商会	15：20 立石電機×日本ビクター
			16：40 日立栃木×ジャスコ
第3週第2日 11月17日(日)	栃木市総合体育館	13：00 本田技研鈴鹿×三陽商会	14：30 立石電機×日立栃木
	戸田市スポーツセンター	15：50 湧永製薬×大崎電気	14：30 大崎電気×大和銀行
第4週第1日 11月23日(土)	四日市体育館	15：50 日新製鋼×本田技研鈴鹿	14：30 日本ビクター×ジャスコ
第4週第2日 11月24日(日)	名古屋市体育館		15：20 大和銀行×日立栃木
	熊本県立総合体育館	13：30 大崎電気×三陽商会	15：00 大崎電気×立石電機

（2部）

第1週1日 11月2日(土)	宮城県スポーツセンター	14：20 中村荷役×日鉄建材	
第1週第2日 11月3日(日)	福島体育館	11：00 三景×日鉄建材	14：00 東京重機×ムネカタ
第2週第2日 11月10日(日)	岐阜県民体育館	13：00 大阪イーグルス×中村荷役	
第3週第1日 11月16日(土)	貝塚市立体育館	15：40 トヨタ自動車×トヨタ車体	13：00 ムネカタ×ソニー国分
		17：00 大阪イーグルス×三景	14：20 北国銀行×シャトレーゼ
		18：20 日鉄建材×本田技研熊本	
第3週第2日 11月17日(日)	大阪ガス体育館(兵庫)	10：00 トヨタ車体×大阪ガス	12：40 北国銀行×ソニー国分
		11：20 トヨタ自動車×本田技研熊本	14：00 ブラザー工業×東京重機
第4週第2日 11月24日(日)	名古屋市体育館	14：00 三景×トヨタ車体	
	熊本県立総合体育館	12：00 本田技研熊本×大阪ガス	

賛助会通信

賛助会の輪をもっと広げよう

――新会員の紹介をお願いします――

ハンドボールはどうして民放テレビに映らないのか？ハンドボール愛好者がいつも口にする言葉です。そうです。ハンドボールが電波に乗るのは、ＮＨＫ教育テレビの全日本総合とスポーツニュースぐらいです。民放の放映には何千万円という金がかかります。そのためのスポンサーがつくかつかないかは視聴率、観客動員次第です。日本協会でも、スポンサーの交渉はしていますが、どちらがにわとりか卵かはともかく、並行してハンドボールの試合を見ていただくファンを多く集めていただくことが大切です。

賛助会の年度は、暫定的に１月から12月までとなっています。賛助会費収入から機関紙増刷及び送料等の経費を控除した残金は、ナショナルチームの強化や普及事業などの財源にあてられています。

選手強化には相当な金がかかるうえ、ロス・オリンピックで痛感されたように若手選手（高校生から中学生まで）の育成強化にはこれまで以上に金がかかります。

また、日本協会は、小学校に対するハンドボールの普及を当面の最大の課題としています（これが頂点強化にもつながります。）それが親子ハンドボールにつながって、ハンドボールの輪はますます大きくなっていく……。

どうか賛助会の皆さんも、そのような輪の核となって、その輪をもっともっと大きくしていって欲しいと思います。お一人が２名、３名の知人を誘っていただければ、会員の数は直ちに数倍になります。

会員の特典として、特別頒価のビデオの製作監修が具体化しつつあります。「賛助会だより」は、当分この「賛助会通信」で代えさせていただきます。いろいろなご意見をお寄せください。

また、賛助会の幹事（パーティーなどの世話役）を募っておりますので、ご希望の方はご連絡をお待ちしています。

〒150 東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育館内
（財）日本ハンドボール協会賛助会
TEL（03）481-2361（代）

▶60年度会員

◎特別法人会員

東京重機工業㈱、伊藤忠商事㈱、立石電機㈱、本田技研工業㈱鈴鹿製作所、大崎電気工業㈱、本田技研工業㈱熊本製作所、日新製鋼㈱、呉製鉄所、ジャスコ㈱、中村荷役運輸㈱、㈱日立製作所栃木工場、㈱大和銀行、㈱北国銀行、東北ムネカタ㈱、大同特殊鋼㈱、トヨタ自動車㈱、㈱三景、新日本製鉄㈱、湧永製薬㈱

◎特別個人会員

斎藤英四郎（日本協会・東京都）、荒川清美、武田喜三、大野金一(同)、武内史衛（日本協会公認会計士）、阿部二郎（日本協会・茨城県)、黒田富郎（日本協会・日野市)、村田弘（日本協会・堺市)、柳井文治（日本協会・下松市)、中沢重夫（日本協会・東京都)、幸村稔（名古屋市)、木下浩次（名古屋市)、大西武三（日本協会・茨城県)、金原至（日本協会・氷見市)、三鴨博（立川市)、幡谷祐一（水戸市)、日野博（北九州市)、北川勇喜（日本協会・横浜市)、安藤純光（日本協会・日野市)、滝口三郎（日本協会・東京都)、平井博道（大阪市)、福島富造（富田林市)、富永邵（日本協会・水戸市)、田中滋章（日本協会・名古屋市)、木下秀男（佐久市)、北原佐久生（長野県)、油井孝一郎（佐久市)、新津真澄（長野県)、柳沢民弥（日本協会・佐久市)、井田萬三郎（浦和市)、乃村正数（坂出市)、中根武彦（日本協会・亀山市)、藤田八郎（日本協会・熊本市)、入江信太郎（日本協会・茨城県)、滝沢武（栃木市)、山田稔（日本協会・藤井寺市)、岡田卓也（東京都)、高田日呂美（日本協会・東京都)、渡辺慶寿（日本協会・宇都宮市)、岡前義春（日本協会・府中市)、嶋田新太郎（氷見市)、川上整司（日本協会・狭山市)、宇津野年一（名古屋市)、李寿昶（東八代郡)、里和則（日本協会・境港市)、竹内義文（横浜市)、新家谷隆夫（大阪市)、平野恭夫（津島市)、荏畑平男（大阪市)、近藤金博（日本協会・日野市)、奥村真人（宮崎市)、菅野富夫（東京都)、清水正（日本協会・甲府市)、古屋正（塩山市)、佐野和夫（東京都）

スポーツが好き。汗が好き。

笑顔があります。涙があります。
躍動があります。記録への挑戦があります。
チームプレイの和があります。
からだを動かしていると
人生の大切なものがたくさん見えてきます。
新日鉄は、スポーツを通し
心身を鍛える皆様に声援をおくります。



(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二四五号
昭和四十年六月
第三種郵便物認可
昭和六十年九月二十五日 印刷
昭和六十年十月 一 日 発行
東京都渋谷[illegible]
電話 代表 [illegible]
振替 東京 六－五八三四八番
編集兼発行人 大野金一
定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)